

平成30年度

文化に関する意識調査
(ダイジェスト版)

静岡県

目次

I	調査概要	3
1	調査目的	3
2	調査内容	3
3	調査方法	3
4	回収結果	3
5	報告書を読む際の留意点	3
6	年代別補正	4
7	回答者の属性	4
8	回答者の属性表	5
II	設問別の結果	6
1	文化・芸術の鑑賞について	6
1-1	文化・芸術のメディアによる鑑賞機会	6
1-2	文化・芸術のメディアによる鑑賞内容	7
1-3	メディアによる文化・芸術鑑賞への月間支出額	9
1-4	文化・芸術の直接鑑賞機会	11
1-5	直接鑑賞した文化・芸術の内容	12
1-6	直接鑑賞への1公演平均支出額	15
1-7	直接鑑賞しなかった理由	17
1-8	今後直接鑑賞したい内容	19
1-9	鑑賞情報の入手媒体	22
2	文化・芸術の活動について	24
2-1	文化・芸術の活動機会の有無	24
2-2	文化・芸術の活動内容	25
2-3	文化・芸術活動への月間支出額	27
2-4	文化・芸術活動をしない理由	30
2-5	文化・芸術活動の情報入手媒体	32
2-6	今後したい文化・芸術活動	34
2-7	文化・芸術活動による効果・影響	37
3	静岡県の文化施設等について	38
3-1	「静岡県立美術館」への期待	38
3-2	「グランシップ」の利用経験	40
3-3	「グランシップ」の利用目的	41
3-4	「グランシップ」への期待	42
3-5	「公益財団法人静岡県舞台芸術センター（以下、SPAC）」の認知度	44
3-6	「SPAC」の鑑賞経験	45
3-7	「SPAC」への期待	46
3-8	「SPAC」を鑑賞しない理由	47
3-9	「SPAC」への意見	48
3-10	「ふじのくに地球環境史ミュージアム」への期待	49
3-11	「静岡県富士山世界遺産センター」への期待	50

4	静岡県の文化振興について.....	51
4-1	文化に期待するもの.....	51
4-2	地域の誇りだと感じられる文化資源の有無.....	53
4-3	地域の誇りだと感じられる文化資源.....	55
4-4	子どもへの文化・芸術の提供.....	56
4-5	災害発生後の文化の役割の有無.....	58
4-6	災害発生後の文化の役割.....	59
4-7	オリンピック・パラリンピック文化プログラムの認知度.....	60
4-8	オリンピック・パラリンピック文化プログラムへの期待.....	62
4-9	文化・芸術振興のために、県へ期待すること.....	63
4-10	文化・芸術に対する支援活動参加の有無.....	64
4-11	文化・芸術に対する支援活動の内容.....	66
4-12	文化・芸術に対する支援活動参加理由.....	68
4-13	文化・芸術に対する支援活動参加希望の有無.....	69
4-14	文化・芸術に対する支援活動参加希望の内容.....	70

I 調査概要

1 調査目的

静岡県民が文化に関してどのように感じ、文化の振興にどのような意見を持っているのかを把握するとともに、過去の調査結果と今回（平成30年度実施）の調査結果とを比較することで、文化活動や意識についての経年的な変化を把握し、今後の文化振興を進めて行く上での参考資料とする。

2 調査内容

- ①最近1年間の文化に関する活動や参加状況について
- ②文化に関する意識、イメージについて
- ③静岡県の文化振興の現状と今後の方向性などについて

3 調査方法

- ①調査地区 県内35市町
- ②調査対象 静岡県内に居住する満18歳以上の男女
- ③対象者数 2,000人
- ④抽出方法 層化二段無作為抽出法
- ⑤調査方法 郵送調査法（郵送配布－郵送回収）
- ⑥調査時期 平成30年8月

4 回収結果

回収数 780件
回収率 39.0%

5 報告書を読む際の留意点

- ①比率はすべて百分率で表し、小数点第2位以下を四捨五入して算出した。そのために比率の合計が100%にならないことがある。
- ②複数回答が可能な設問については、比率の合計は100%を超えることがある。
- ③本文中の設問の選択肢については、長文項目は簡略化した箇所がある。
- ④集計表はすべて補正後の数値である。
- ⑤各設問内では選択肢を年代別に後述する補正係数で乗じているため、選択肢が多くなると誤差が大きくなる場合がある。
- ⑥調査対象者の属性に無回答があるため、各図表の内訳の合計が回答者数と異なる場合がある。また、無回答は全体の比率計算に含めている。

6 年代別補正

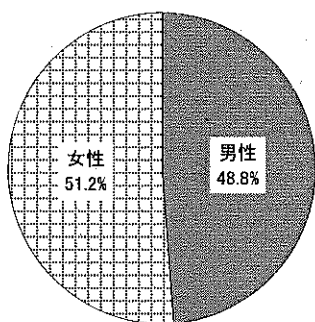
アンケート回収結果の件数及び比率については、静岡県全体の年代別人口（母集団）からの偏りを補正計算して調査結果としている。ただし、年代が無回答であった9件については補正係数を決めることができず、ウエイトバック集計が行えないため集計から除外した。

年代	静岡県全体の人口(※1)		回収		補正係数
	数	割合(%)	数	割合(%)	
18～29歳	378,733	12.3	37	4.8	2.56
30～39歳	413,929	13.4	71	9.2	1.46
40～49歳	533,760	17.3	140	18.2	0.95
50～59歳	456,865	14.8	167	21.7	0.68
60～69歳	533,823	17.3	213	27.6	0.63
70歳以上	760,804	24.7	143	18.5	1.34
合計	3,077,914	100.0	771	100.0	

※1 平成29年静岡県年齢別人口集計（静岡県）

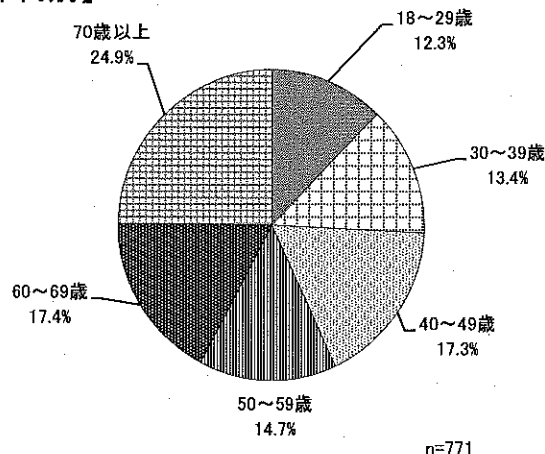
7 回答者の属性

【性別】



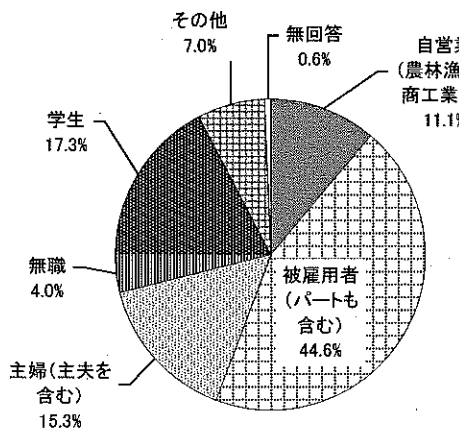
n=771

【年代別】



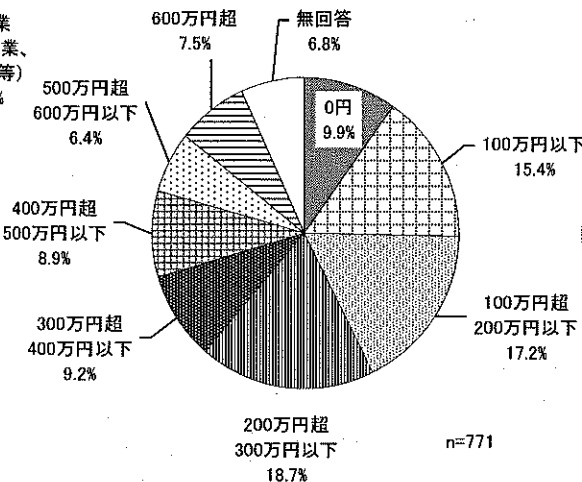
n=771

【職業別】



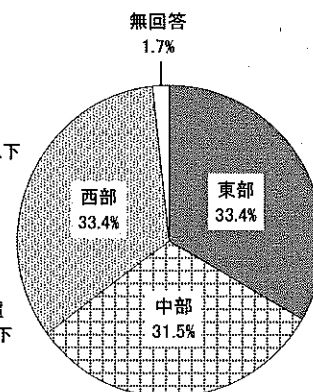
n=771

【収入別】



n=771

【地区別】



n=771

8 回答者の属性表

項目	特性	回答者 (人)	構成比 (%)	
性別	男性	376	48.8	
	女性	395	51.2	
	無回答	0	0	
年代別	18～29歳	95	12.3	
	30～39歳	104	13.4	
	40～49歳	133	17.3	
	50～59歳	114	14.7	
	60～69歳	134	17.4	
	70歳以上	192	24.9	
	無回答	0	0.0	
性・年代別	男性	18～29歳	41	5.3
		30～39歳	53	6.8
		40～49歳	56	7.3
		50～59歳	56	7.2
		60～69歳	66	8.6
		70歳以上	105	13.6
		無回答	0	0.0
	女性	18～29歳	54	7.0
		30～39歳	51	6.6
		40～49歳	77	10.0
		50～59歳	58	7.5
		60～69歳	68	8.8
		70歳以上	87	11.3
		無回答	0	0.0
職業別	自営業(農林漁業、商工業等)	86	11.1	
	被雇用者(パートも含む)	344	44.6	
	主婦(主夫も含む)	118	15.3	
	無職	31	4.0	
	学生	133	17.3	
	その他	54	7.0	
	無回答	5	0.6	
収入別	0円	76	9.9	
	1円～1,000,000円	119	15.4	
	1,000,001円～2,000,000円	133	17.2	
	2,000,001円～3,000,000円	144	18.7	
	3,000,001円～4,000,000円	71	9.2	
	4,000,001円～5,000,000円	69	8.9	
	5,000,001円～6,000,000円	49	6.4	
	6,000,001円～ 無回答	58 52	7.5 6.8	
地区別	東部	257	33.4	
	中部	243	31.5	
	西部	258	33.4	
	無回答	13	1.7	

※静岡県の人口構成比に即した補正を実施しているため、集計表の属性別の件数・割合と異なる場合がある。

※補正時の誤差により、各属性の合計は一致しない場合がある。

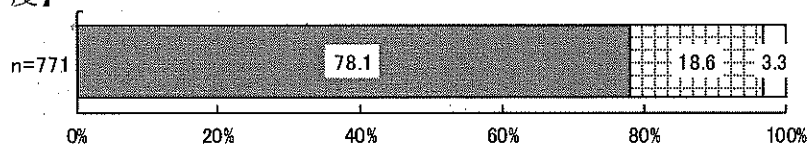
Ⅱ 設問別の結果

1 文化・芸術の鑑賞について

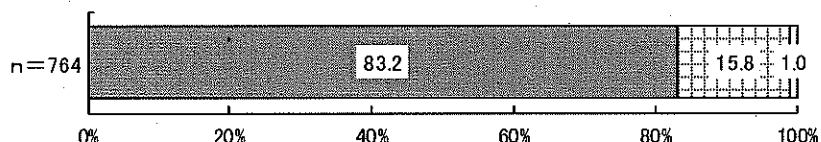
1-1 文化・芸術のメディアによる鑑賞機会

問1 あなたは、昨年1年間に、メディア(テレビ、インターネット、DVD、電子・紙媒体書籍等)を通して、文化・芸術を鑑賞する機会がありましたか。

【平成30年度】



【平成27年度】



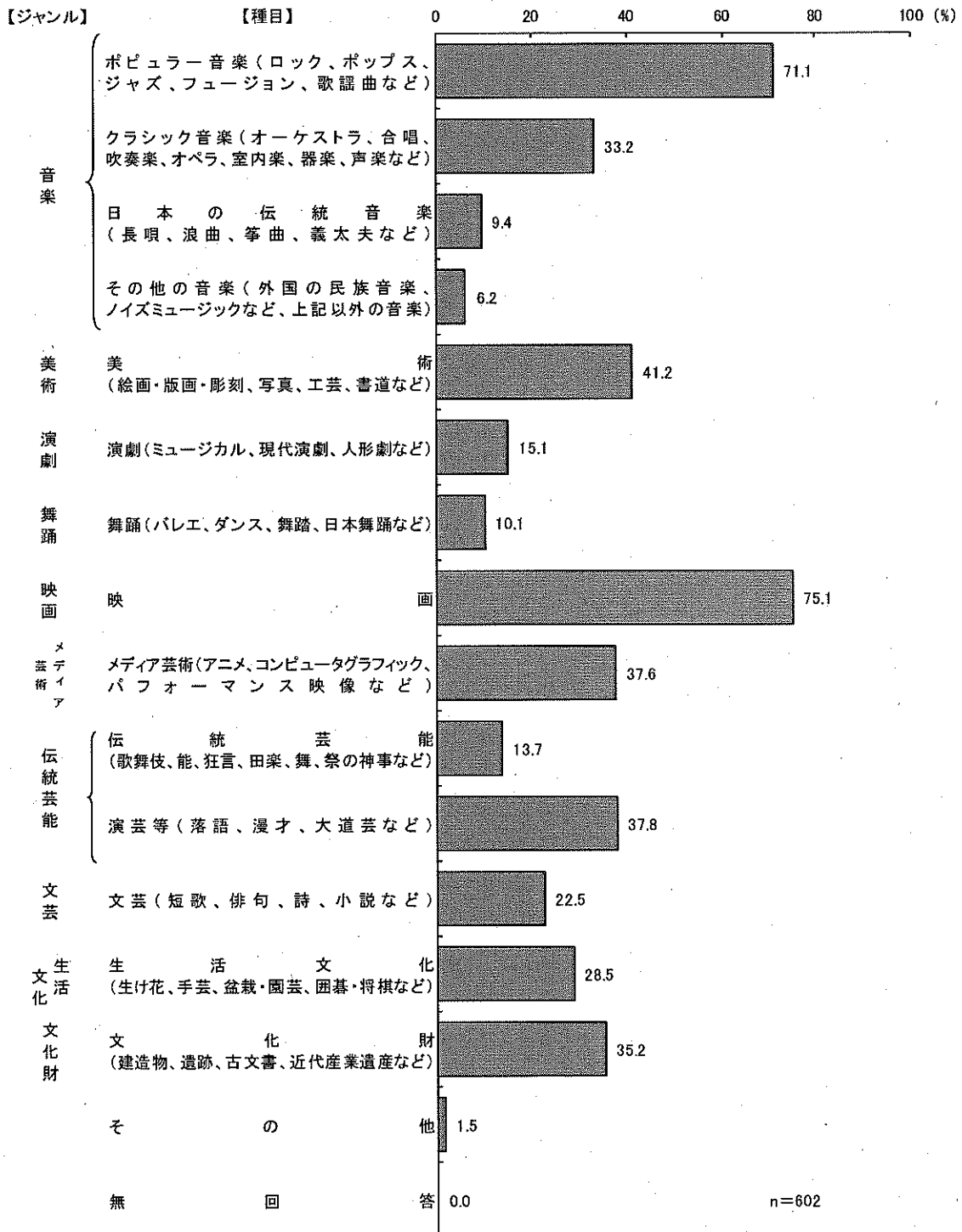
ある ない 無回答

<全体>

昨年1年間に文化・芸術を鑑賞する機会が「ある」と回答した割合は78.1%で、「ない」と回答した割合は18.6%であった。

1-2 文化・芸術のメディアによる鑑賞内容

問2 問1で「1. ある」と回答された方にお聞きます。昨年1年間に、メディア(テレビ、インターネット、DVD、電子・紙媒体書籍等)を通して鑑賞された文化・芸術はどれですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



<全体>

昨年1年間にメディアを通して文化・芸術を鑑賞する機会が「ある」と回答した人の鑑賞内容は、第1位が「映画」で75.1%、次いで「ポピュラー音楽」が71.1%、「美術」が41.2%で続いている。

<性・年代別 鑑賞内容の上位種目>

鑑賞をした種目を性・年代別で見ると、第1位は、男性の18～29歳、30～39歳、60～69歳、70歳以上が「映画」で、40～49歳、50～59歳が「ポピュラー音楽」となっている。また、女性の18～29歳から60～69歳までが「映画」で、70歳以上では「ポピュラー音楽」と「美術」が同率となった。

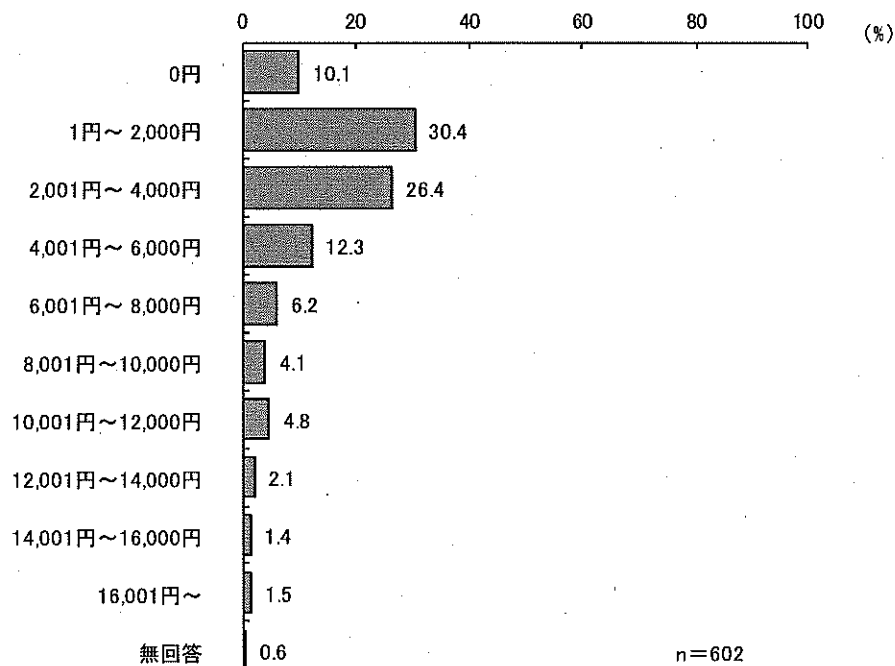
【図1-2-ii 性・年代別 文化・芸術のメディアによる鑑賞内容の上位種目】

(%)

性	年代	件数	1位	2位	3位	4位	5位
男性	18～29歳	36	映画 78.6	ポピュラー音楽 71.4	メディア芸術 64.3	演芸等 21.4	生活文化/文化財 14.3
	30～39歳	37	映画 88.0	ポピュラー音楽 84.0	メディア芸術 60.0	文化財 52.0	演芸等 40.0
	40～49歳	48	ポピュラー音楽 88.2	映画 76.5	メディア芸術/演芸等 52.9		文化財 43.1
	50～59歳	42	ポピュラー音楽 88.7	映画 80.6	メディア芸術 40.3	美術 38.7	生活文化/文化財 27.4
	60～69歳	47	映画 77.0	ポピュラー音楽 62.2	美術 45.9	演芸等 41.9	文化財 37.8
	70歳以上	76	映画 61.4	美術/演芸等 56.1		ポピュラー音楽/文化財 49.1	
女性	18～29歳	46	映画 88.9	ポピュラー音楽 83.3	メディア芸術 66.7	美術 33.3	クラシック音楽 27.8
	30～39歳	45	映画 80.6	ポピュラー音楽 74.2	メディア芸術 61.3	クラシック音楽/演芸等 35.5	
	40～49歳	67	映画 93.0	ポピュラー音楽 78.9	メディア芸術 46.5	クラシック音楽 40.8	美術 35.2
	50～59歳	48	映画 85.9	ポピュラー音楽 73.2	美術 50.7	演芸等 36.6	生活文化/文化財 33.8
	60～69歳	50	映画 67.1	ポピュラー音楽 64.6	美術 54.4	文化財 48.1	演芸等/生活文化 41.8
	70歳以上	59	ポピュラー音楽/美術 54.5		演芸等/生活文化 47.7		クラシック音楽 43.2

1-3 メディアによる文化・芸術鑑賞への月間支出額

問3 問1で「1. ある」と回答された方にお聞きします。あなたは、昨年1年間でメディアを通じた文化・芸術鑑賞のために、1か月平均いくら位お金(ダウンロード代、レンタル代、書籍購入代など)を支出していますか。次の中から、最も近い金額に○をつけてください。



<全体>

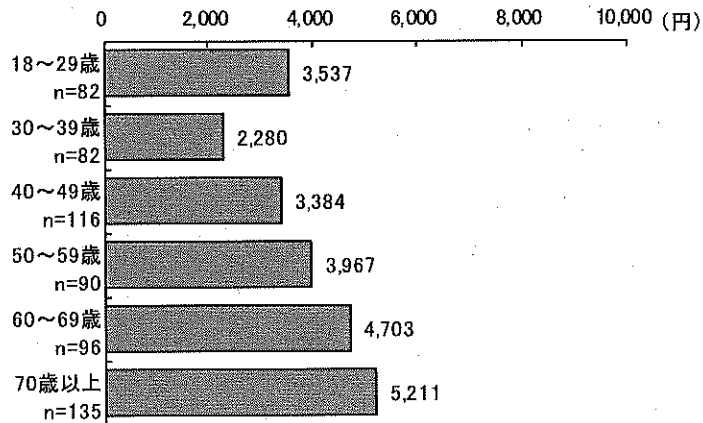
昨年1年間にメディアを通して文化・芸術鑑賞をする機会があった人の月間支出額(ダウンロード代、レンタル代、書籍購入代など)は、「1円～2,000円」が30.4%で最も高く、次いで「2,001円～4,000円」が26.4%、「4,001円～6,000円」が12.3%の順となっている。

なお、「16,001円以上」との回答は1.5%であった。

<年代別>

年代別でみると、文化・芸術鑑賞への1人当たりの月間支出額は下のグラフの通りとなった(算出方法は下記参照)。70歳以上が最も高く、5,211円となっている。以下、60～69歳、50～59歳、18～29歳と続いている。

【図1-3-i 年代別 メディアによる文化・芸術鑑賞への月間支出額】

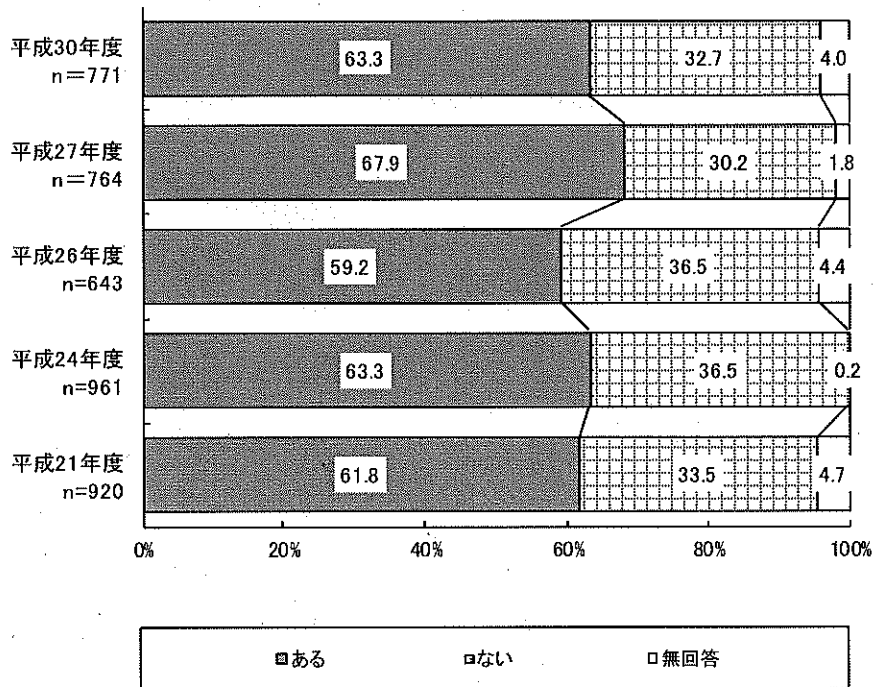


算出方法

- ①本設問の選択肢は、「1円～2,000円」といったように2,000円の幅があるため、その中央値を単価とする。(例:「1円～2,000円」であれば1,000円、「2,001円～4,000円」であれば3,000円)
- ②年代ごとに各単価の回答者数を出し、単価に乗ずる。これを合計して、各年代の合計支出額を算出する。
- ③②の合計支出額を、「無回答」を除く各年代の回答者数で除したものを、1人当たりの平均支出額とする。

1-4 文化・芸術の直接鑑賞機会

問4 あなたは、昨年1年間に、ホールや劇場、映画館や美術館・博物館などの会場で、直接、文化・芸術を鑑賞する機会がありましたか。



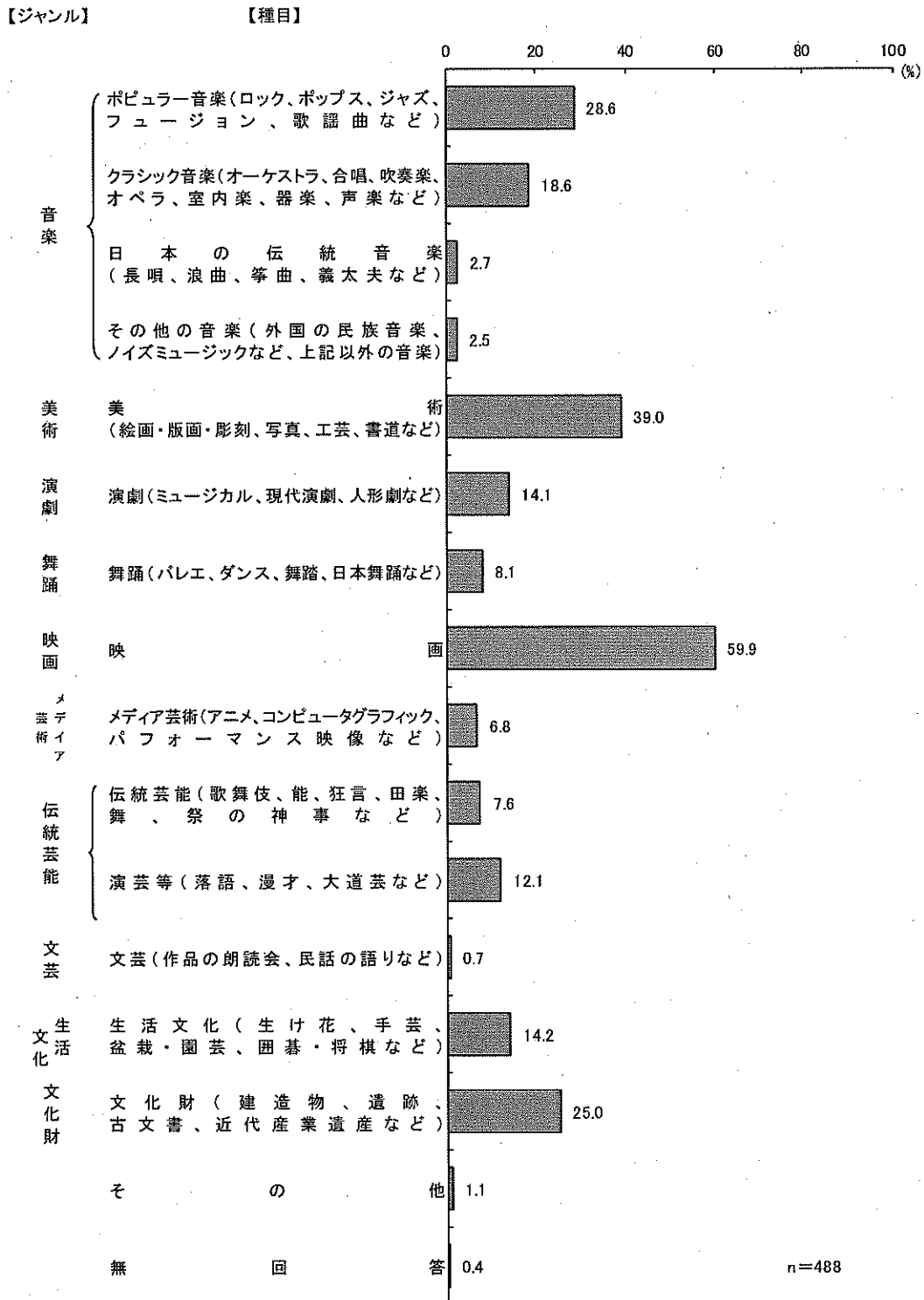
<全体>

昨年1年間に文化・芸術を直接鑑賞する機会が「ある」と回答した割合は63.3%で、「ない」と回答した割合は32.7%であった。

過去の調査と比較すると、文化・芸術を直接鑑賞する機会が「ある」とした人は前回の67.9%から4.6ポイント低くなり、平成24年度調査と同率の結果となった。

1-5 直接鑑賞した文化・芸術の内容

問5 問4で「1. ある」と回答された方にお聞きします。昨年1年間に、直接鑑賞された文化・芸術は次のどれですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図1-5-i 直接鑑賞した文化・芸術の内容】

(%)

【ジャンル】	【種目】	平成21年度	平成24年度	平成26年度	平成27年度	平成30年度
音楽	ポピュラー	27.2	28.3	30.2	30.7	28.6
	クラシック	25.5	20.5	21.4	21.1	18.6
	伝統音楽	4.6	5.6	2.8	1.4	2.7
	その他音楽	4.2	3.2	3.8	1.8	2.5
美術	美術	49.0	50.5	46.2	40.9	39.0
演劇	演劇	19.2	17.2	16.0	17.6	14.1
舞踊	舞踊	10.5	8.0	9.6	8.1	8.1
映画	映画	59.4	60.9	53.5	59.1	59.9
メディア芸術	メディア芸術	3.2	2.8	2.5	5.1	6.8
伝統芸能	伝統芸能	6.2	6.2	8.9	9.9	7.6
	演芸等	17.4	13.4	14.8	13.3	12.1
文芸	文芸	3.9	4.1	4.7	1.2	0.7
生活文化	生活文化	23.6	20.0	26.0	16.1	14.2
文化財	文化財	20.9	22.3	29.5	28.1	25.0
その他		4.0	1.4	2.9	1.8	1.1
無回答		1.4	0.8	0.0	0.2	0.4

<全体>

昨年1年間に文化・芸術を直接鑑賞する機会が「ある」と回答した人の鑑賞内容は、第1位が「映画」で59.9%、次いで「美術」が39.0%、「ポピュラー音楽」が28.6%で続いている。

過去の調査と比較すると、平成30年度調査は「伝統音楽」「その他音楽」「映画」「メディア芸術」は増加しているものの、全般的には平成27年度調査と比べ減少している。

<性・年代別 直接鑑賞内容の上位種目>

直接鑑賞した種目を性・年代別でみると、第1位は、男性の18～29歳から60～69歳までが「映画」で、70歳以上は「映画」と「美術」が同率となっている。また、女性は18～29歳から50～59歳までが「映画」で、60～69歳と70歳以上が「美術」となった。

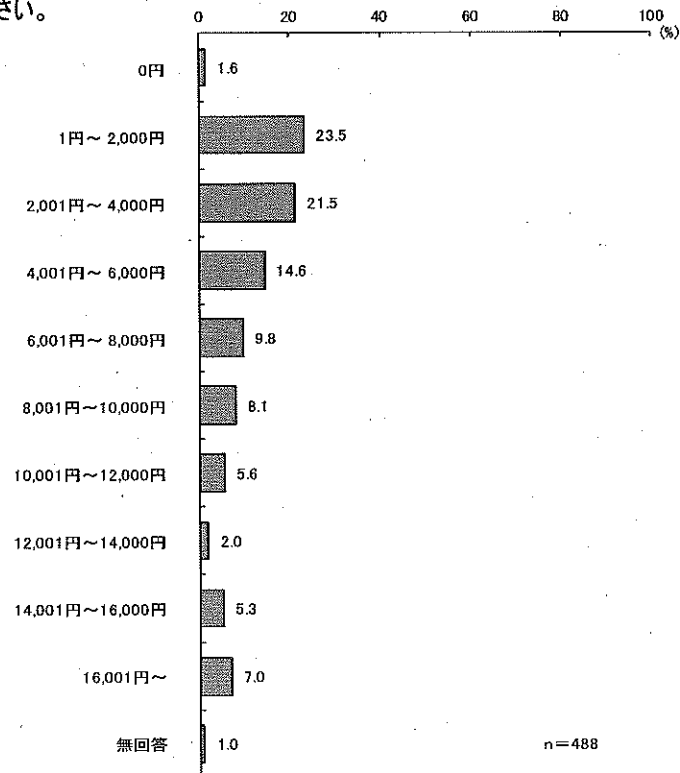
【図1-5-iii 性・年代別 直接鑑賞した文化・芸術の内容の上位種目】

(%)

性	年代	件数	1位	2位	3位	4位	5位
男性	18～29歳	15	映画 83.3	美術 33.3	ポピュラー音楽/クラシック音楽/演劇/メディア芸術 16.7		
	30～39歳	34	映画 69.6	文化財 39.1	美術 26.1	ポピュラー音楽/クラシック音楽/演芸等 13.0	
	40～49歳	35	映画 56.8	美術 29.7	文化財 27.0	ポピュラー音楽 18.9	メディア芸術 16.2
	50～59歳	29	映画 73.8	ポピュラー音楽 38.1	美術 19.0	文化財 16.7	演劇 11.9
	60～69歳	38	映画 58.3	美術 38.3	文化財 31.7	ポピュラー音楽 25.0	クラシック音楽 16.7
	70歳以上	55	美術/映画 48.8		文化財 36.6	演芸等/生活文化 24.4	
女性	18～29歳	44	映画 70.6	ポピュラー音楽 52.9	美術 35.3	クラシック音楽 23.5	演劇/舞蹈 17.6
	30～39歳	44	映画 73.3	ポピュラー音楽 23.3	美術 20.0	クラシック音楽/メディア芸術 13.3	
	40～49歳	52	映画 70.9	美術 43.6	ポピュラー音楽 38.2	クラシック音楽/文化財 25.5	
	50～59歳	45	映画 71.2	美術 42.4	ポピュラー音楽 31.8	文化財 24.2	クラシック音楽/生活文化 16.7
	60～69歳	43	美術 58.8	映画 48.5	生活文化 29.4	ポピュラー音楽/文化財 26.5	
	70歳以上	55	美術 51.2	生活文化 39.0	文化財 31.7	ポピュラー音楽/クラシック音楽/映画/伝統芸能 24.4	

1-6 直接鑑賞への1公演平均支出額

問6 問4で「1. ある」と回答された方にお聞きます。あなたは、昨年1年間で文化・芸術鑑賞のために、1公演平均いくら位お金(チケット代、交通費など)を支出していますか。次の中から、最も近い金額に○をつけてください。



【図1-6-i 直接鑑賞への1公演平均支出額】

(%)

【項目】	平成21年度	平成24年度	平成26年度	平成27年度	平成30年度
0円	4.2	3.6	2.5	1.9	1.6
1円～2,000円	37.8	30.4	17.7	21.4	23.5
2,001円～4,000円	26.2	28.6	19.7	22.1	21.5
4,001円～6,000円	13.5	13.2	14.7	13.4	14.6
6,001円～8,000円	6.5	6.6	9.0	10.1	9.8
8,001円～10,000円	3.5	6.2	10.3	10.7	8.1
10,001円～12,000円	4.0	3.3	5.5	6.1	5.6
12,001円～14,000円	0.7	1.9	3.4	3.6	2.0
14,001円～16,000円	1.2	1.9	6.5	3.4	5.3
16,001円～	1.2	3.3	9.3	6.4	7.0
無回答	1.1	1.0	1.4	0.8	1.0

<全体>

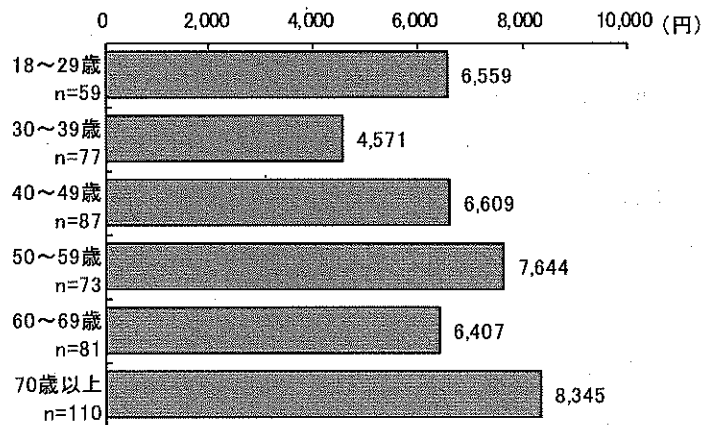
昨年1年間に文化・芸術鑑賞をする機会があった人の文化・芸術鑑賞に関する1公演当たりの平均支出額は、「1円～2,000円」が23.5%で最も高く、次いで「2,001円～4,000円」が21.5%、「4,001円～6,000円」が14.6%の順となっている。なお、「16,001円以上」との回答は7.0%であった。

過去の調査と比較すると、「0円」と回答する割合は減少傾向となっている。一方で平成27年度調査と比べ、「1円～2,000円」「4,001円～6,000円」「14,001円～16,000円」「16,001円以上」の価格帯ではそれぞれわずかながら増加している。

<年代別>

年代別でみると、文化・芸術鑑賞への1公演平均支出額は下のグラフの通りとなった（算出方法は下記参照）。70歳以上が最も高く、8,345円となっている。以下、50～59歳、40～49歳、18～29歳と続いている。

【図1-6-ii 年代別 直接鑑賞への1公演平均支出額】

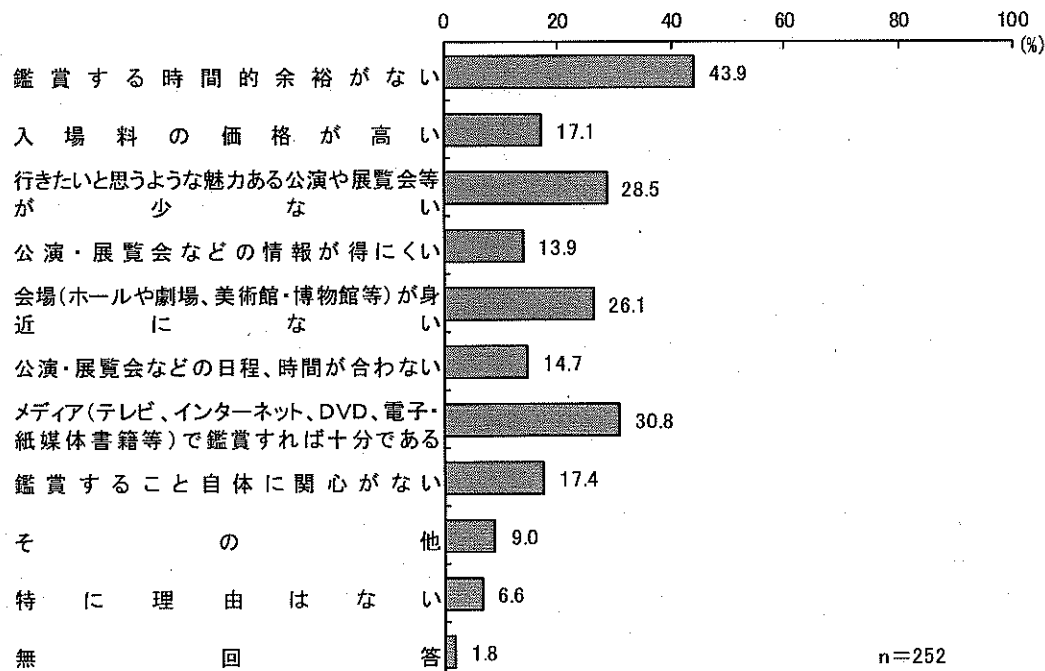


算出方法

- ①本設問の選択肢は、「1円～2,000円」といったように2,000円の幅があるため、その中央値を単価とする。（例：「1円～2,000円」であれば1,000円、「2,001円～4,000円」であれば3,000円）
- ②年代ごとに各単価の回答者数を出し、単価に乗ずる。これを合計して、各年代の合計支出額を算出する。
- ③②の合計支出額を、「無回答」を除く各年代の回答者数で除したものを、1人当たりの平均支出額とする。

1-7 直接鑑賞しなかった理由

問7 問4で「2. ない」と回答された方にお聞きます。昨年、あなたが鑑賞に出かけなかったのは、どのような理由からですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図1-7-i 直接鑑賞しなかった理由】

【項目】	(%)			
	平成24年度	平成26年度	平成27年度	平成30年度
鑑賞する時間的余裕がない	50.1	34.7	45.0	43.9
入場料の価格が高い	19.0	10.4	18.7	17.1
行きたいと思うような魅力ある公演や展覧会等が少ない	24.6	18.2	26.5	28.5
公演・展覧会などの情報が得にくい	20.6	11.0	13.8	13.9
会場が身近にない	22.1	15.4	23.5	26.1
公演・展覧会などの日程、時間が合わない	-	7.6	13.7	14.7
メディアで鑑賞すれば十分である	15.8	10.6	30.5	30.8
鑑賞すること自体に関心がない	14.8	13.7	11.6	17.4
その他	5.4	11.0	14.4	9.0
特に理由はなし	9.1	6.6	5.8	6.6
無回答	1.8	12.8	0.4	1.8

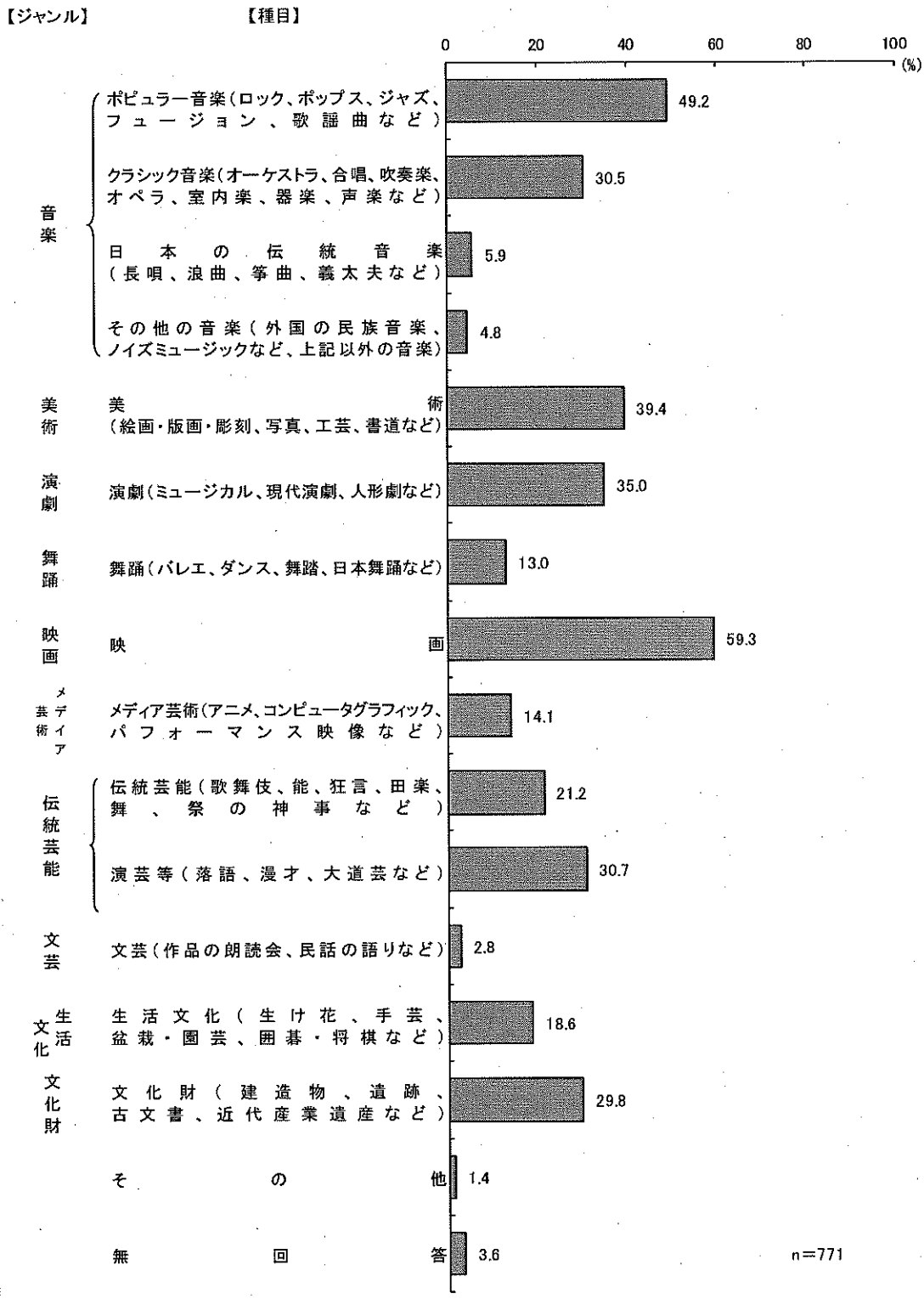
<全体>

昨年1年間に文化・芸術鑑賞をしなかった人の理由の第1位は、「鑑賞する時間的余裕がない」が43.9%と最も高く、次いで「メディアで鑑賞すれば十分である」が30.8%、「行きたいと思うような魅力ある公演や展覧会等が少ない」が28.5%と続いている。また、「会場が身近にない」も26.1%と2割超となっている。

一方、「鑑賞すること自体に関心がない」は17.4%となっている。

1-8 今後直接鑑賞したい内容

問8 あなたは、今後、ホールや劇場、映画館や美術館・博物館などで直接鑑賞したいと思っているものはありますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図1-8-i 今後直接鑑賞したい内容】

(%)

【ジャンル】	【種目】	平成21年度	平成24年度	平成26年度	平成27年度	平成30年度
音楽	ポピュラー	42.9	43.3	41.0	53.8	49.2
	クラシック	33.7	31.5	30.2	33.3	30.5
	伝統音楽	7.0	6.5	7.8	4.1	5.9
	その他音楽	6.5	5.7	6.5	5.8	4.8
美術	美術	40.0	42.2	41.7	46.7	39.4
演劇	演劇	30.3	28.2	29.5	37.0	35.0
舞踊	舞踊	13.2	12.6	10.8	15.3	13.0
映画	映画	55.1	55.0	46.1	61.0	59.3
メディア芸術	メディア芸術	5.2	5.6	5.2	11.7	14.1
伝統芸能	伝統芸能	16.3	20.3	21.8	25.2	21.2
	演芸等	29.6	26.9	30.2	30.9	30.7
文芸	文芸	3.3	3.3	4.4	3.8	2.8
生活文化	生活文化	17.6	16.7	23.2	18.9	18.6
文化財	文化財	22.1	26.1	26.7	35.4	29.8
その他		1.0	0.6	1.3	1.9	1.4
無回答		3.7	3.0	3.3	3.3	3.6

<全体>

今後直接鑑賞したい内容の第1位は「映画」が59.3%と最も高く、次いで「ポピュラー音楽」が49.2%、「美術」が39.4%、「演劇」が35.0%と続いている。

過去の調査と比較すると「伝統音楽」と「メディア芸術」は平成27年度調査より増加した。ただし、全体的には平成27年度調査より減少傾向となっている。

<性・年代別 直接鑑賞したい内容の上位種目>

今後直接鑑賞したい種目を性・年代別でみると、第1位は、男性では18～29歳から60～69歳までで「映画」となり、70歳以上では「美術」「映画」「演芸等」が同率で第1位となっている。女性は30～39歳から50～59歳までで「映画」となり、18～29歳で「ポピュラー音楽」「映画」が同率、60～69歳で「美術」、70歳以上で「生活文化」となっている。

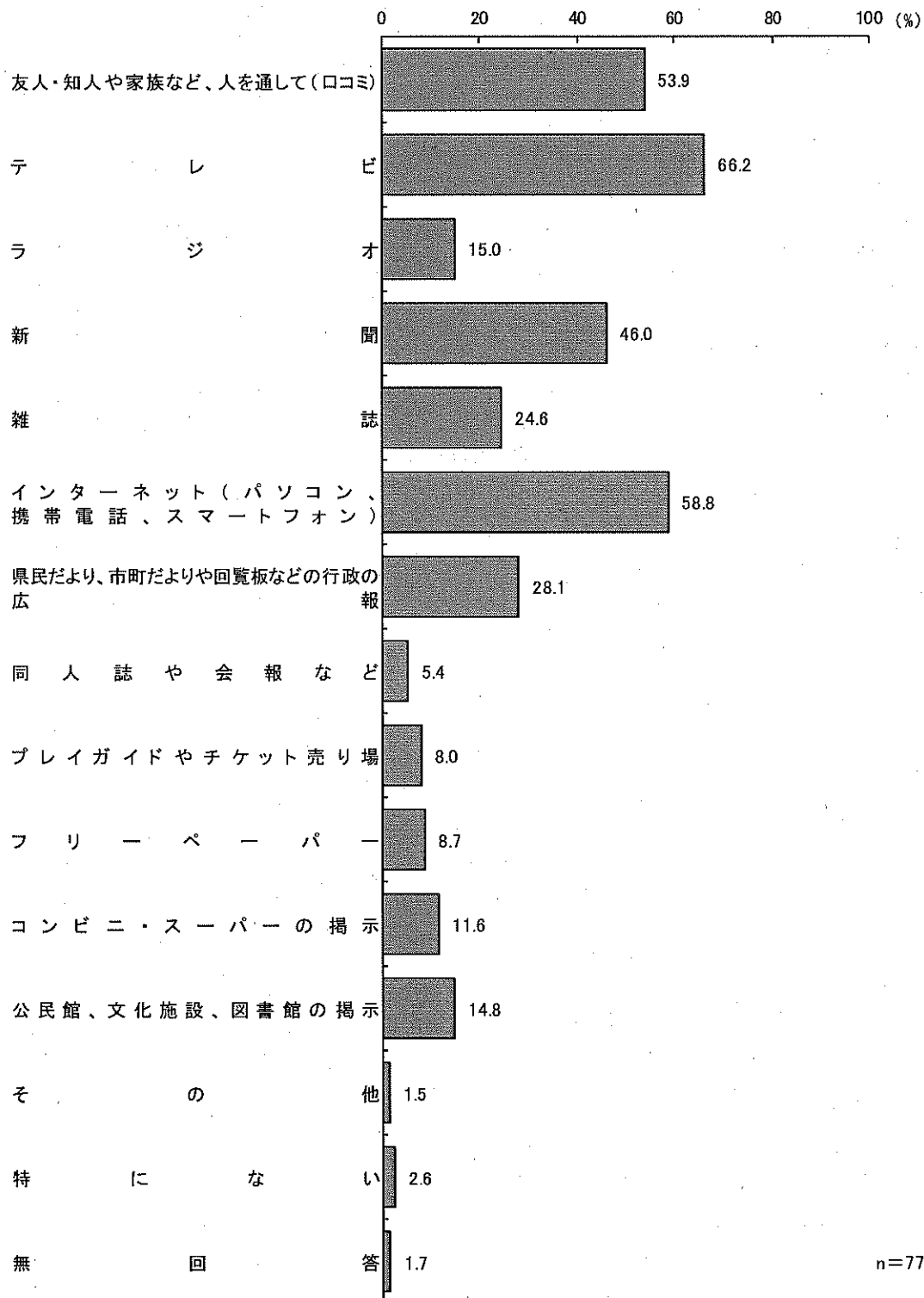
【図1-8-v 性・年代別 今後直接鑑賞したい内容の上位種目】

(%)

性	年代	件数	1位	2位	3位	4位	5位
男性	18～29歳	41	映画 56.3	ポピュラー音楽/演劇 43.8		メディア芸術 31.3	クラシック音楽 25.0
	30～39歳	53	映画 63.9	ポピュラー音楽 47.2	文化財 38.9	演芸等 36.1	クラシック音楽 33.3
	40～49歳	56	映画 76.3	ポピュラー音楽 57.6	文化財 45.8	美術 42.4	クラシック音楽/演芸等 35.6
	50～59歳	56	映画 68.3	ポピュラー音楽 59.8	美術 40.2	文化財 29.3	クラシック音楽 26.8
	60～69歳	66	映画 57.1	文化財 41.0	ポピュラー音楽 40.0	美術 35.2	クラシック音楽 29.5
	70歳以上	105	美術/映画/演芸等 50.0			文化財 35.9	ポピュラー音楽 34.6
女性	18～29歳	54	ポピュラー音楽/映画 66.7		演劇 47.6	クラシック音楽/美術 38.1	
	30～39歳	51	映画 80.0	演劇 71.4	ポピュラー音楽 60.0	クラシック音楽/美術 37.1	
	40～49歳	77	映画 75.3	ポピュラー音楽 63.0	演劇 54.3	クラシック音楽/美術 42.0	
	50～59歳	58	映画 67.1	ポピュラー音楽 65.9	演劇 52.9	美術 49.4	演芸等 38.8
	60～69歳	68	美術 48.1	演劇 46.3	映画 45.4	ポピュラー音楽 41.7	伝統芸能 37.0
	70歳以上	87	生活文化 38.5	美術 35.4	伝統芸能 32.3	ポピュラー音楽/舞踊/演芸 30.8	

1-9 鑑賞情報の入手媒体

問9 あなたは、直接鑑賞する機会の情報を入手するために、現在どのようなもの(媒体・手段)を利用していますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図1-9-i 鑑賞情報の入手媒体】

(%)

【項目】	平成21年度	平成24年度	平成26年度	平成27年度	平成30年度
友人・知人や家族など、 人を通して(口コミ)	47.1	51.1	53.8	54.6	53.9
テレビ(※)	57.6	59.4	57.6	69.8	66.2
ラジオ(※)				15.5	15.0
新聞(※)	59.2	51.2	54.0	49.4	46.0
雑誌(※)				30.1	24.6
インターネット	29.0	36.7	31.2	54.5	58.8
行政の広報	32.6	27.0	35.2	28.5	28.1
同人誌や会報など	1.6	4.2	2.2	5.9	5.4
プレイガイドやチケット売り場	4.2	3.8	4.9	7.8	8.0
フリーペーパー	-	-	-	8.9	8.7
コンビニ・スーパーの掲示	7.3	7.6	7.7	12.2	11.6
公民館、文化施設、図書館の掲示	12.4	12.1	16.5	17.5	14.8
その他	0.8	2.3	1.9	2.5	1.5
特にない	5.9	5.2	5.6	2.0	2.6
無回答	3.5	3.2	3.2	1.1	1.7

※平成27年度から「テレビ」「ラジオ」は過去調査の「テレビ・ラジオ」を2項目に分けて集計。

※平成27年度から「新聞」「雑誌」は過去調査の「新聞・雑誌」を2項目に分けて集計。

<全体>

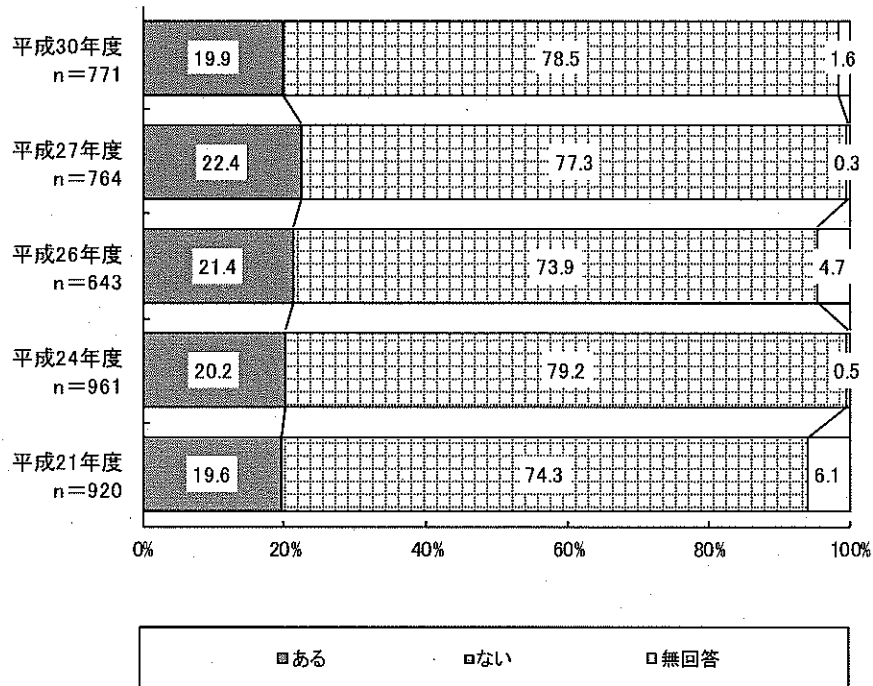
文化・芸術鑑賞についての情報を入手するために、現在利用している媒体手段は「テレビ」が66.2%と最も高く、次いで「インターネット」が58.8%、「友人・知人や家族など、人を通して(口コミ)」が53.9%と続いている。また、「新聞」は46.0%、「雑誌」は24.6%であった。

過去の調査と比較すると、平成27年度調査で第2位だった「友人・知人や家族など、人を通して(口コミ)」を平成30年度調査では「インターネット」が抜き、第2位となった。

2 文化・芸術の活動について

2-1 文化・芸術の活動機会の有無

問10 あなたは、昨年1年間に、文化・芸術に関することで、個人またはグループで、継続して活動したことはありましたか。



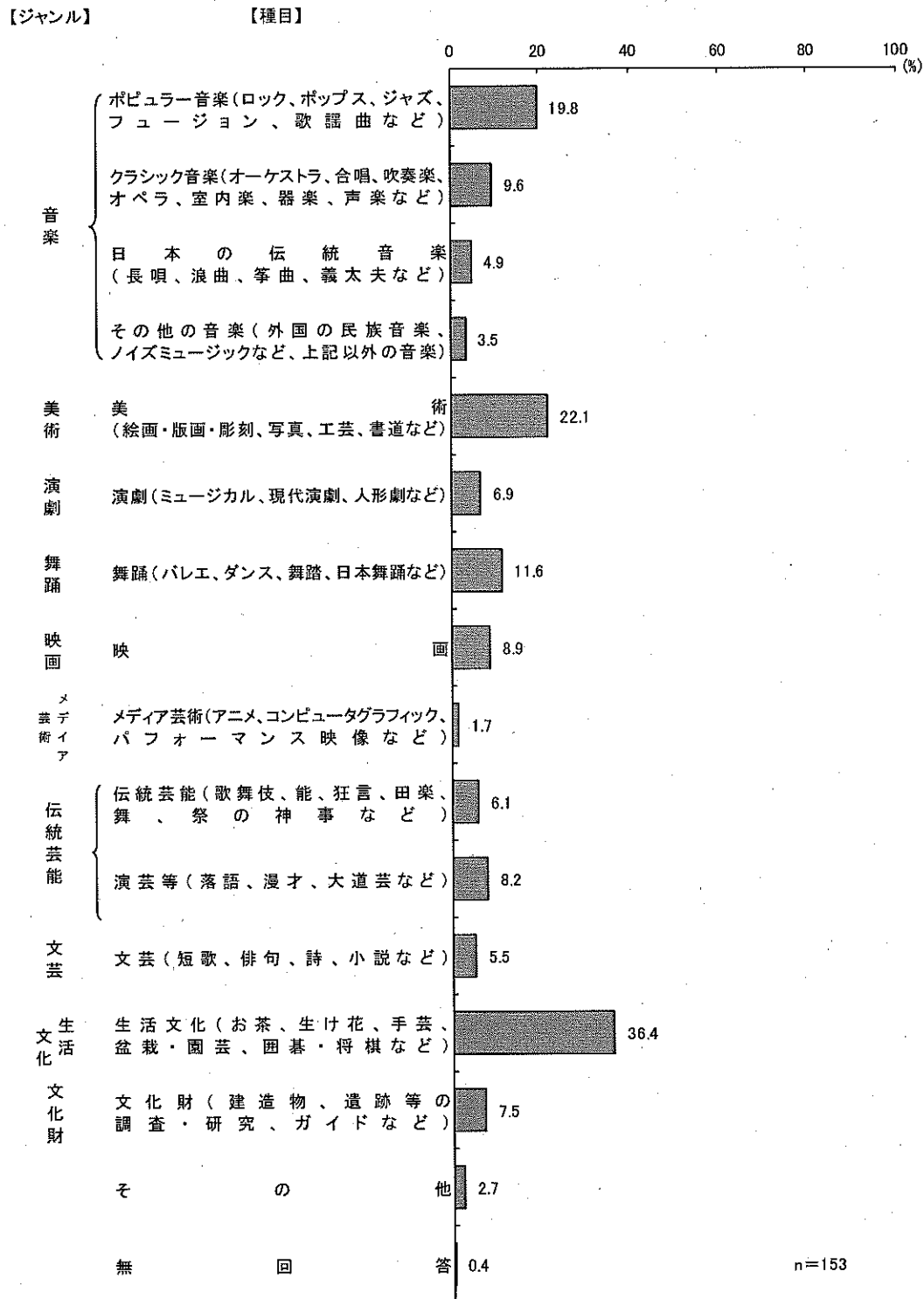
<全体>

昨年1年間に文化・芸術に関する活動をしたことが「ある」人は19.9%で、ほぼ5人に1人の割合となっている。一方、したことが「ない」人は78.5%となっている。

過去の調査と比較すると、文化・芸術に関する活動をしたことが「ある」人は平成21年度調査以降、微増となっていたが、平成30年度調査では平成27年度調査と比較して2.5ポイント減少している。

2-2 文化・芸術の活動内容

問11 問10で「1. ある」と回答された方にお聞きます。継続して活動したことは次のどれですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図2-2-i 文化・芸術の活動内容】

(%)

【ジャンル】	【種目】	平成21年度	平成24年度	平成26年度	平成27年度	平成30年度
音楽	ポピュラー	8.3	14.9	15.2	18.3	19.8
	クラシック	12.8	23.1	16.2	16.3	9.6
	伝統音楽	3.3	4.4	3.6	2.1	4.9
	その他音楽	2.8	1.8	1.9	0.8	3.5
美術	美術	25.0	26.1	27.6	21.4	22.1
演劇	演劇	5.6	4.1	3.2	5.6	6.9
舞踊	舞踊	19.4	13.9	15.2	13.5	11.6
映画	映画	4.4	11.4	16.4	10.4	8.9
メディア芸術	メディア芸術	2.2	4.0	4.0	3.0	1.7
伝統芸能	伝統芸能	3.3	3.5	7.3	6.7	6.1
	演芸等	1.7	2.0	2.4	4.4	8.2
文芸	文芸	6.1	4.7	8.8	8.3	5.5
生活文化	生活文化	31.7	29.7	36.1	28.4	36.4
文化財	文化財	6.7	8.1	16.5	10.8	7.5
その他		10.6	6.3	7.1	4.5	2.7
無回答		2.2	2.6	1.3	0.0	0.4

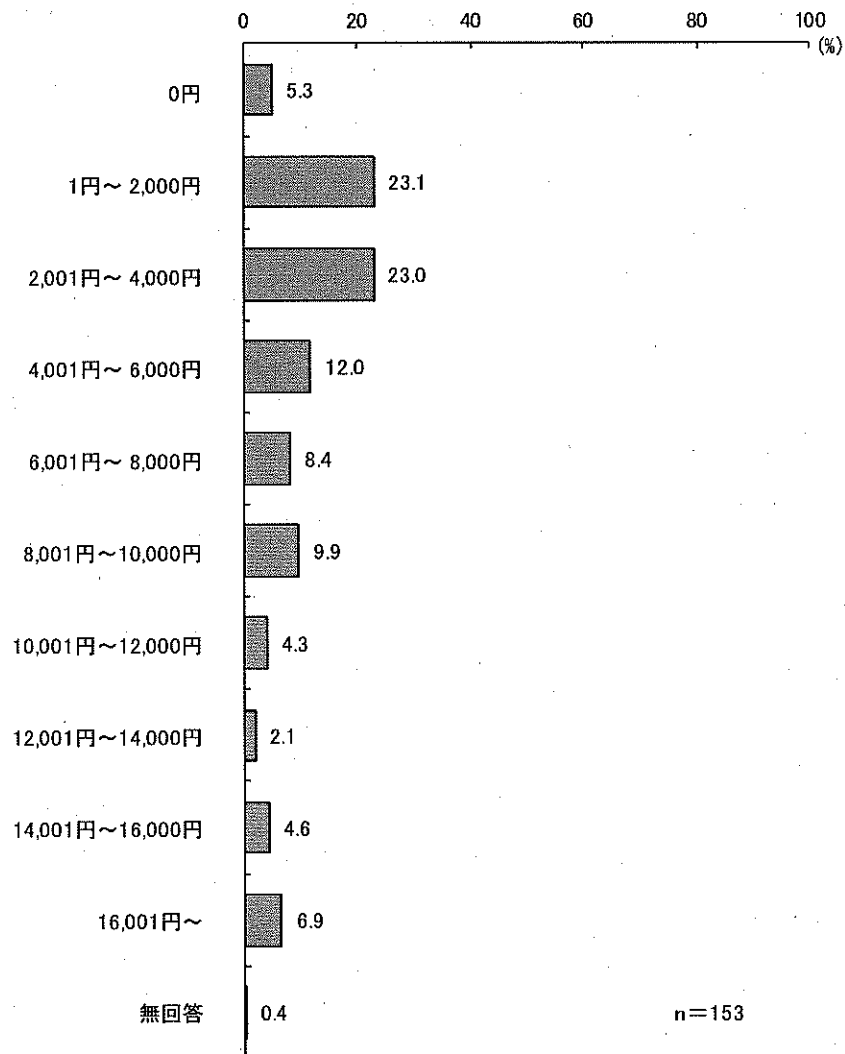
＜全体＞

昨年1年間に文化・芸術に関する事で、個人またはグループで、継続して学習や活動をした機会が「ある」と回答した人の活動内容は、第1位が「生活文化」で36.4%、次いで「美術」が22.1%、「ポピュラー音楽」が19.8%となっている。

過去の調査と比較すると、「生活文化」は平成27年度調査では前年度よりも減少していたが、平成30年度調査では逆に8.0ポイント増加している。一方、「ポピュラー音楽」は平成27年度調査に引き続いて増加している。

2-3 文化・芸術活動への月間支出額

問12 問10で「1. ある」と回答された方にお聞きします。あなたは、昨年1年間で文化・芸術に関することで、個人またはグループで、継続して活動するために、1か月平均いくら位お金を支出していますか。次の中から、最も近い金額に○をつけてください。



【図2-3-i 文化・芸術活動への月間支出額】

【項目】	（％）				
	平成21年度	平成24年度	平成26年度	平成27年度	平成30年度
0円	4.4	0.9	0.7	4.0	5.3
1円～2,000円	18.3	17.4	20.4	22.8	23.1
2,001円～4,000円	23.3	24.4	21.9	24.4	23.0
4,001円～6,000円	12.8	15.8	13.9	14.6	12.0
6,001円～8,000円	7.8	10.2	10.2	6.3	8.4
8,001円～10,000円	10.6	8.0	11.7	5.5	9.9
10,001円～12,000円	8.9	11.6	5.8	6.7	4.3
12,001円～14,000円	2.2	3.6	2.2	4.1	2.1
14,001円～16,000円	3.3	2.3	5.8	3.6	4.6
16,001円～	6.7	4.3	7.3	7.7	6.9
無回答	1.7	1.7	0.0	0.4	0.4

<全体>

昨年1年間に文化・芸術に関する事で、個人またはグループで、継続して活動した機会が「ある」と回答した人の月間支出額は、「1円～2,000円」が23.1%で最も高く、次いで「2,001円～4,000円」が23.0%、「4,001円～6,000円」が12.0%の順となっている。

また、「16,001円以上」と回答した人は6.9%となっている。

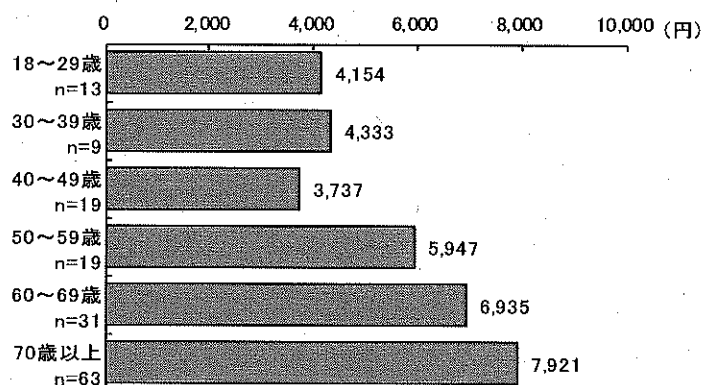
過去の調査と比較すると、「0円」が過去最大の5.3%となっている。また、「1円～2,000円」は平成24年度調査以降増加傾向で推移しており、平成30年度調査で初めて第1位となっている。

<年代別>

1人当たりの月間支出額は下のグラフの通りとなった（算出方法は下記参照）。

年代別でみると、70歳以上が7,921円で最も高く、次いで、60～69歳が6,935円、50～59歳が5,947円と続いている。また、40～49歳が3,737円で最も低くなっている。

【図2-3-ii 年代別 文化・芸術活動への月間支出額】

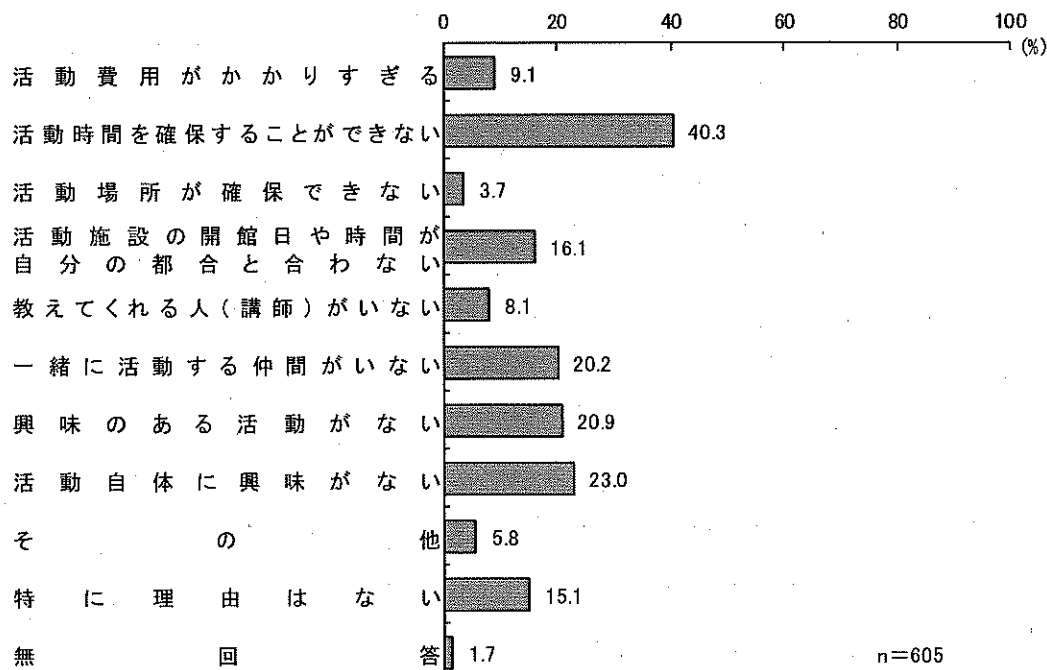


算出方法

- ①本設問の選択肢は、「1円～2,000円」といったように2,000円の幅があるため、その中央値を単価とする。(例: 「1円～2,000円」であれば1,000円、「2,001円～4,000円」であれば3,000円)
- ②年代ごとに各単価の回答者数を出し、単価に乗ずる。これを合計して、各年代の合計支出額を算出する。
- ③②の合計支出額を、「無回答」を除く各年代の回答者数で除したものを、1人当たりの平均支出額とする。

2-4 文化・芸術活動をしらない理由

問13 問10で「2. ない」と回答された方にお聞きします。あなたが活動していないのは、どのような理由からですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図2-4-i 文化・芸術活動をしらない理由】

(%)

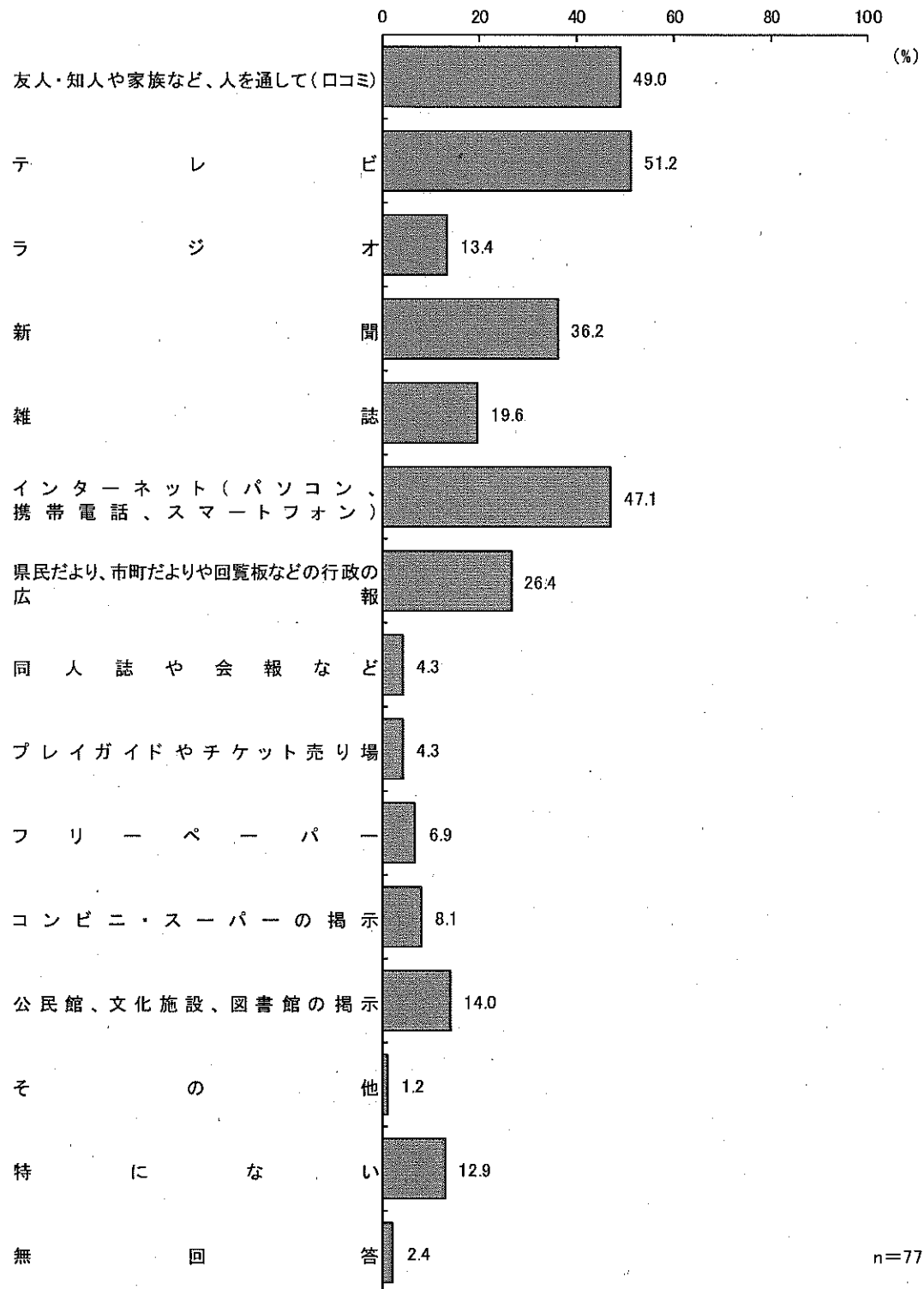
【項目】	平成24年度	平成26年度	平成27年度	平成30年度
活動費用がかかりすぎる	14.3	14.3	12.3	9.1
活動時間を確保することができない	54.8	45.9	39.2	40.3
活動場所が確保できない	2.8	5.1	5.5	3.7
活動施設の開館日や時間が自分の都合と合わない	3.5	1.9	14.8	16.1
教えてくれる人(講師)がいない	5.9	5.0	8.1	8.1
一緒に活動する仲間がいない	20.0	16.1	19.7	20.2
興味のある活動がない	20.1	19.5	18.7	20.9
活動自体に興味がない	11.7	14.5	19.9	23.0
その他	4.2	5.7	6.6	5.8
特に理由はな	12.9	14.6	19.7	15.1
無回答	0.7	1.7	0.5	1.7

<全体>

昨年1年間に文化・芸術に関する活動をしなかった理由の第1位は、「活動時間を確保することができない」が40.3%と最も高く、次いで「活動自体に興味がない」が23.0%、「興味のある活動がない」が20.9%、「一緒に活動する仲間がいない」が20.2%の順となっている。

2-5 文化・芸術活動の情報入手媒体

問14 あなたは、文化・芸術に関する活動についての情報を入手するために、現在どのようなもの(媒体・手段)を利用していますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図2-5-i 文化・芸術活動の情報入手媒体】

(%)

【項目】	平成21年度	平成24年度	平成26年度	平成27年度	平成30年度
友人・知人や家族など、人を通して (口コミ)	46.1	46.7	50.1	48.5	49.0
テレビ(※)	46.1	45.6	51.3	49.2	51.2
ラジオ(※)				12.4	13.4
新聞(※)	52.3	47.3	52.4	39.5	36.2
雑誌(※)				21.2	19.6
インターネット	24.1	30.7	29.5	43.2	47.1
行政の広報	35.5	33.1	36.9	27.6	26.4
同人誌や会報など	2.2	3.0	2.6	5.3	4.3
プレイガイドやチケット売り場	2.4	2.2	3.0	3.0	4.3
フリーペーパー	-	-	-	7.0	6.9
コンビニ・スーパーの掲示	4.7	4.6	6.0	7.9	8.1
公民館、文化施設、図書館の掲示	14.0	13.3	16.1	17.6	14.0
その他	0.5	0.7	0.8	1.4	1.2
特にない	12.8	14.3	9.1	14.7	12.9
無回答	3.3	2.2	5.3	2.2	2.4

※平成27年度から「テレビ」「ラジオ」は過去調査の「テレビ・ラジオ」を2項目に分けて集計。

※平成27年度から「新聞」「雑誌」は過去調査の「新聞・雑誌」を2項目に分けて集計。

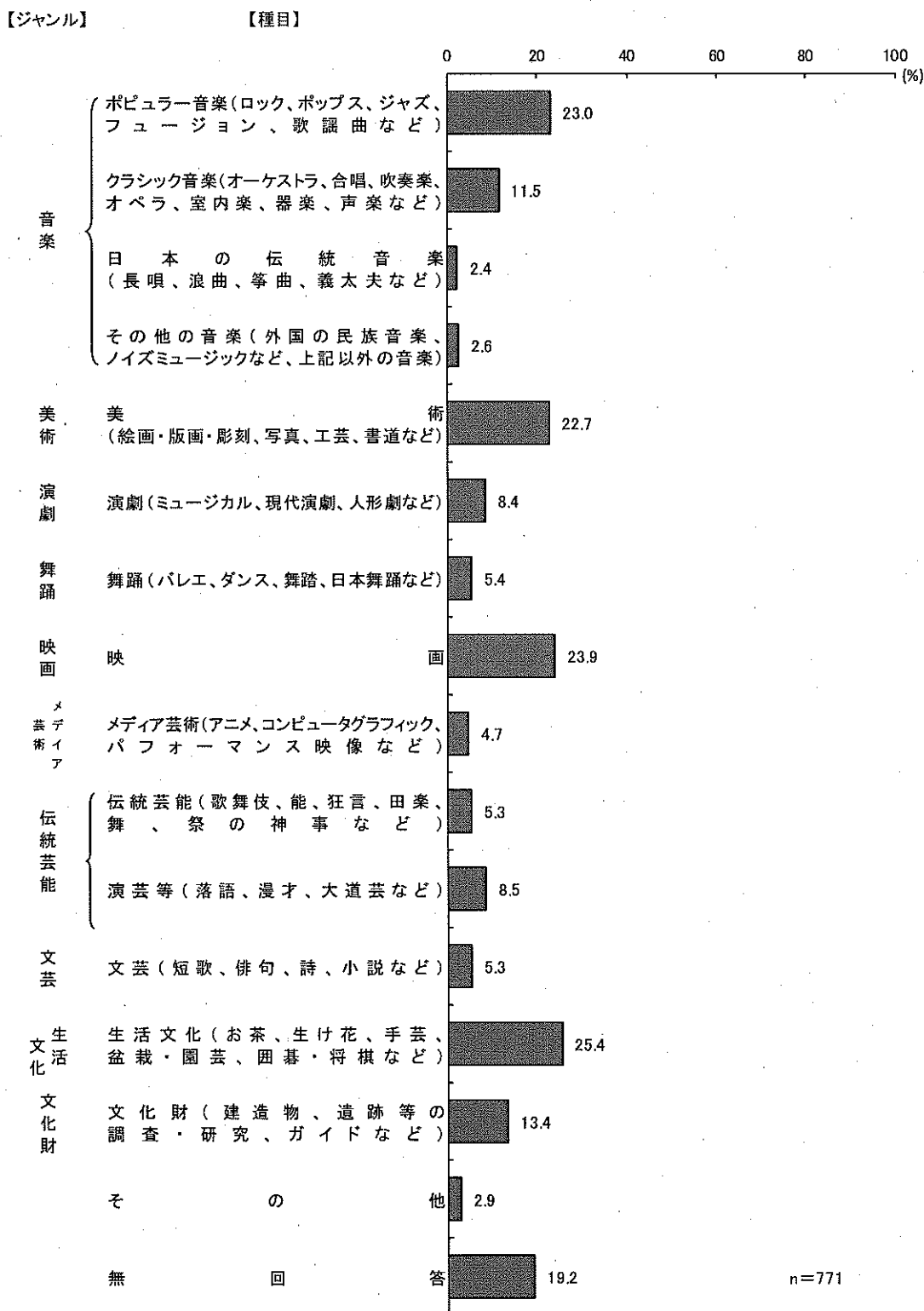
<全体>

文化・芸術に関する活動について、利用している媒体手段は「テレビ」が51.2%で第1位となっている。次いで「友人・知人や家族など、人を通して(口コミ)」が49.0%、「インターネット」が47.1%となっている。

過去の調査と比較すると、「インターネット」が平成27年度調査の43.2%から3.9ポイント増と、増加傾向がみられる。

2-6 今後したい文化・芸術活動

問15 あなたは、次にあげる文化・芸術に関する活動の中で、今後、継続して活動してみたいものがありますか。活動してみたいものすべてに○をつけてください。



【図2-6-i 今後したい文化・芸術活動】

(%)

【ジャンル】	【種目】	平成21年度	平成24年度	平成26年度	平成27年度	平成30年度
音楽	ポピュラー	15.2	13.3	15.9	24.7	23.0
	クラシック	13.4	14.3	14.4	14.8	11.5
	伝統音楽	3.5	3.2	2.8	1.8	2.4
	その他音楽	1.8	1.1	1.8	1.8	2.6
美術	美術	27.0	27.8	26.5	25.6	22.7
演劇	演劇	5.9	5.7	8.6	8.8	8.4
舞踊	舞踊	9.0	8.0	4.6	6.0	5.4
映画	映画	15.8	15.3	19.2	23.4	23.9
メディア芸術	メディア芸術	2.3	2.6	2.7	4.5	4.7
伝統芸能	伝統芸能	4.1	4.1	6.3	5.5	5.3
	演芸等	7.1	5.9	8.1	7.0	8.5
文芸	文芸	4.1	4.7	6.3	4.8	5.3
生活文化	生活文化	24.8	23.7	25.4	25.7	25.4
文化財	文化財	10.5	13.2	14.4	13.7	13.4
その他		1.8	1.2	1.0	8.0	2.9
無回答		5.9	4.6	7.2	15.1	19.2

<全体>

今後、活動したい内容（活動意向）の種目の第1位は「生活文化」が25.4%で最も高くなっており、次いで「映画」が23.9%、「ポピュラー音楽」が23.0%の順となっている。

過去の調査と比較すると、平成30年度調査で第2位となった「映画」は平成26年度調査から増加傾向にある。

<性・年代別 活動したい内容の上位種目>

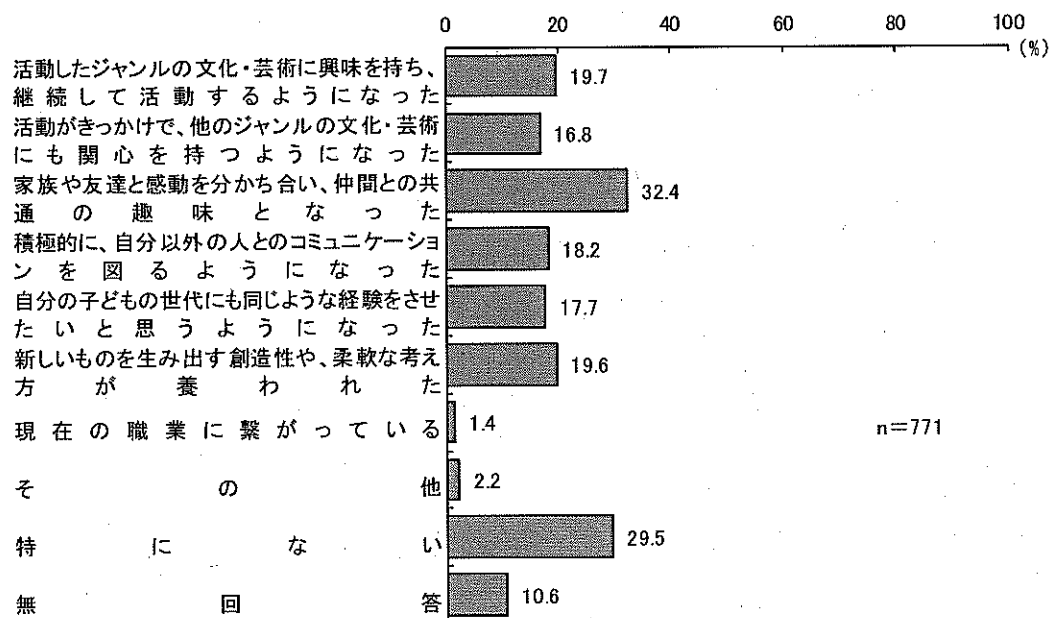
今後、活動したい種目を性・年代別で見ると、男性では40～49歳から60～69歳までは「映画」が第1位に挙げられており、その他の年代は18～29歳が「生活文化」、30～39歳が「ポピュラー音楽」と「映画」、70歳以上が「美術」を第1位に挙げている。女性では30～39歳、40～49歳、60～69歳、70歳以上で「生活文化」が第1位に挙げられており、その他の年代は18～29歳が「美術」、50～59歳が「映画」を第1位に挙げている。

【図2-6-iii 性・年代別 今後したい文化・芸術活動の上位種目】 (%)

性	年代	件数	1位	2位	3位	4位	5位
男性	18～29歳	41	生活文化 18.8	ポピュラー音楽/映画/メディア芸術/文化財			12.5
	30～39歳	53	ポピュラー音楽/映画 25.0		クラシック音楽/演芸等 16.7		美術/文化財 13.9
	40～49歳	56	映画 30.5	ポピュラー音楽 25.4	美術 23.7	生活文化 20.3	文化財 16.9
	50～59歳	56	映画 30.5	ポピュラー音楽 29.3	生活文化 20.7	文化財 19.5	美術 15.9
	60～69歳	66	映画 26.7	ポピュラー音楽 22.9	美術 21.9	文化財 21.0	生活文化 15.2
	70歳以上	105	美術 29.5	生活文化 25.6	文化財 23.1	ポピュラー音楽/映画 21.8	
女性	18～29歳	54	美術 23.8	ポピュラー音楽/映画/生活文化 19.0			クラシック音楽/演劇 14.3
	30～39歳	51	生活文化 42.9	映画 34.3	美術 22.9	ポピュラー音楽 17.1	メディア芸術/演芸等/文化財 8.6
	40～49歳	77	生活文化 34.6	美術 28.4	映画 23.5	ポピュラー音楽 22.2	クラシック音楽 19.8
	50～59歳	58	映画 40.0	ポピュラー音楽 38.8	美術 32.9	生活文化 28.2	クラシック音楽/演劇/文化財 11.8
	60～69歳	68	生活文化 30.6	美術 27.8	映画 23.1	ポピュラー音楽 19.4	演劇 15.7
	70歳以上	87	生活文化 32.3	ポピュラー音楽 21.5	美術 18.5	舞踊 15.4	クラシック音楽/演劇/伝統芸能 12.3

2-7 文化・芸術活動による効果・影響

問16 あなたは、これまで文化・芸術に関する活動を行ったことで、自身にどのような効果・影響がありましたか。
次の中から当てはまるものすべてに○をつけてください。



<全体>

活動による効果・影響については、「家族や友達と感動を分かち合い、仲間との共通の趣味となった」が32.4%で最も高く、次いで「活動したジャンルの文化・芸術に興味を持ち、継続して活動するようになった」が19.7%、「新しいものを生み出す創造性や、柔軟な考え方が養われた」が19.6%となった。なお「特にない」は29.5%であった。

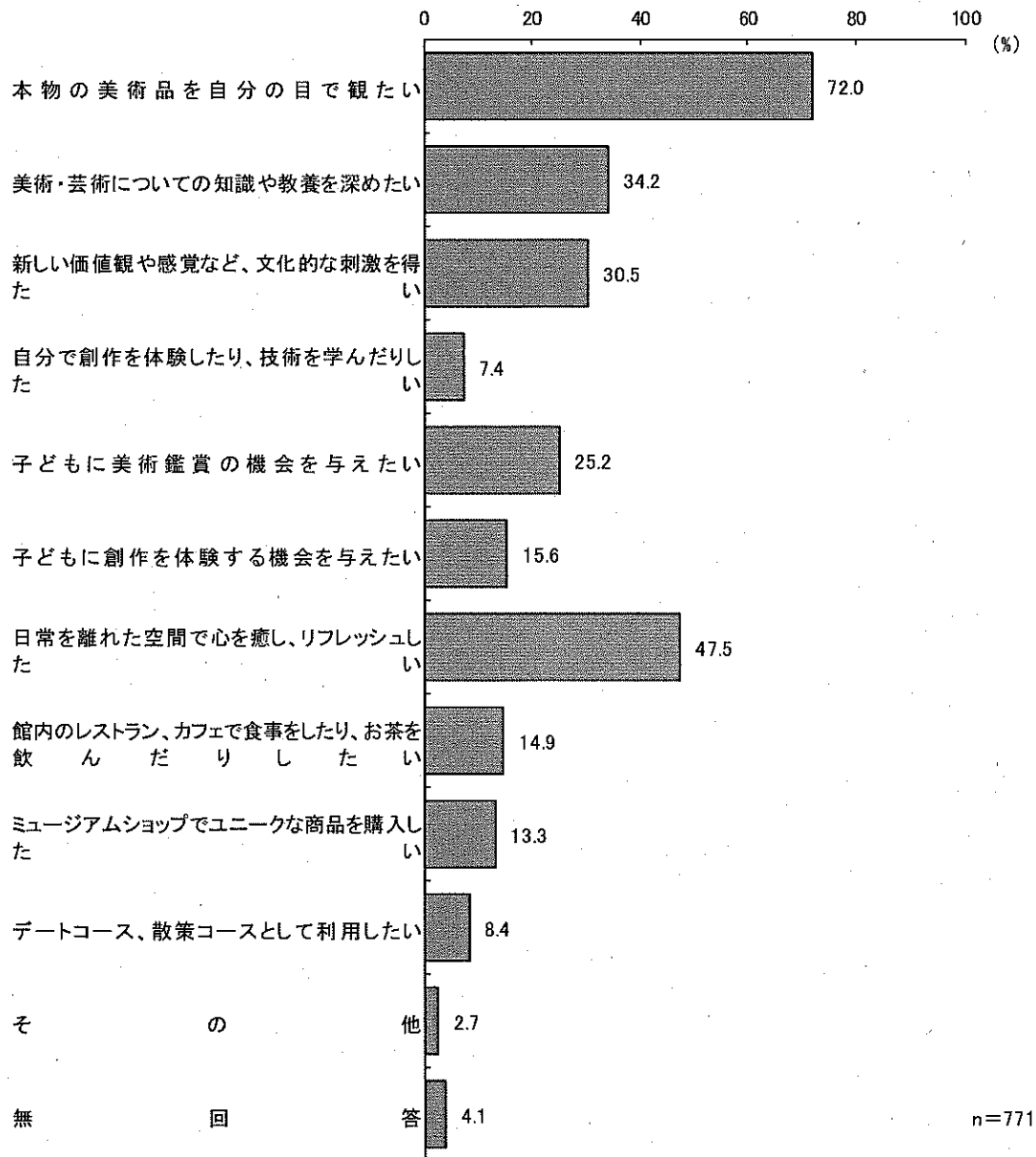
また、「現在の職業に繋がっている」で挙げられた具体的職業は、次の通りである。

- ・介護施設
- ・途上国の開発計画/技術協力の専門家
- ・クラシックギター演奏指導
- ・音楽家

3 静岡県の文化施設等について

3-1 「静岡県立美術館」への期待

問17 あなたが県立美術館に行くとしたら、主にどのようなことを期待して行きますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図3-1-i 「静岡県立美術館」への期待】

(%)

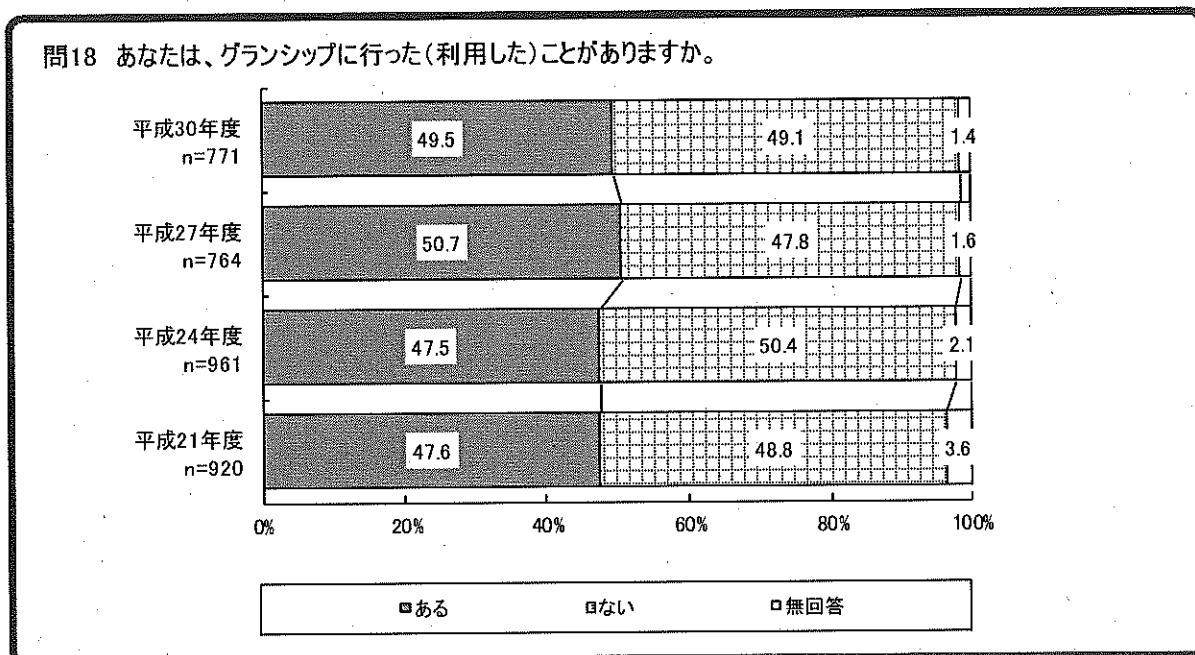
【項目】	平成21年度	平成24年度	平成27年度	平成30年度
本物の美術品を自分の目で観たい	70.2	72.6	70.9	72.0
美術・芸術についての知識や教養を深めたい	33.3	33.1	34.4	34.2
新しい価値観や感覚など、文化的な刺激を得たい	29.0	28.7	34.1	30.5
自分で創作を体験したり、技術を学んだりしたい	10.8	10.8	10.6	7.4
子どもに美術鑑賞の機会を与えたい	24.8	24.8	23.7	25.2
子どもに創作を体験する機会を与えたい	-	-	14.0	15.6
日常を離れた空間で心を癒し、リフレッシュしたい	45.8	43.4	51.0	47.5
館内のレストラン、カフェで食事をしたり、お茶を飲んだりしたい	12.6	15.4	16.4	14.9
ミュージアムショップでユニークな商品を購入したい	7.4	7.7	10.4	13.3
デートコース、散策コースとして利用したい	9.5	7.5	14.0	8.4
その他	1.1	2.6	2.1	2.7
無回答	9.8	4.7	4.5	4.1

<全体>

静岡県立美術館に期待することは「本物の美術品を自分の目で観たい」が72.0%と最も高く、回答者の7割超となっている。次いで「日常を離れた空間で心を癒し、リフレッシュしたい」が47.5%、「美術・芸術についての知識や教養を深めたい」が34.2%、「新しい価値観や感覚など、文化的な刺激を得たい」が30.5%といった順になっている。

過去の調査と比較すると、「ミュージアムショップでユニークな商品を購入したい」が年々増加傾向で推移している。

3-2 「グランシップ」の利用経験



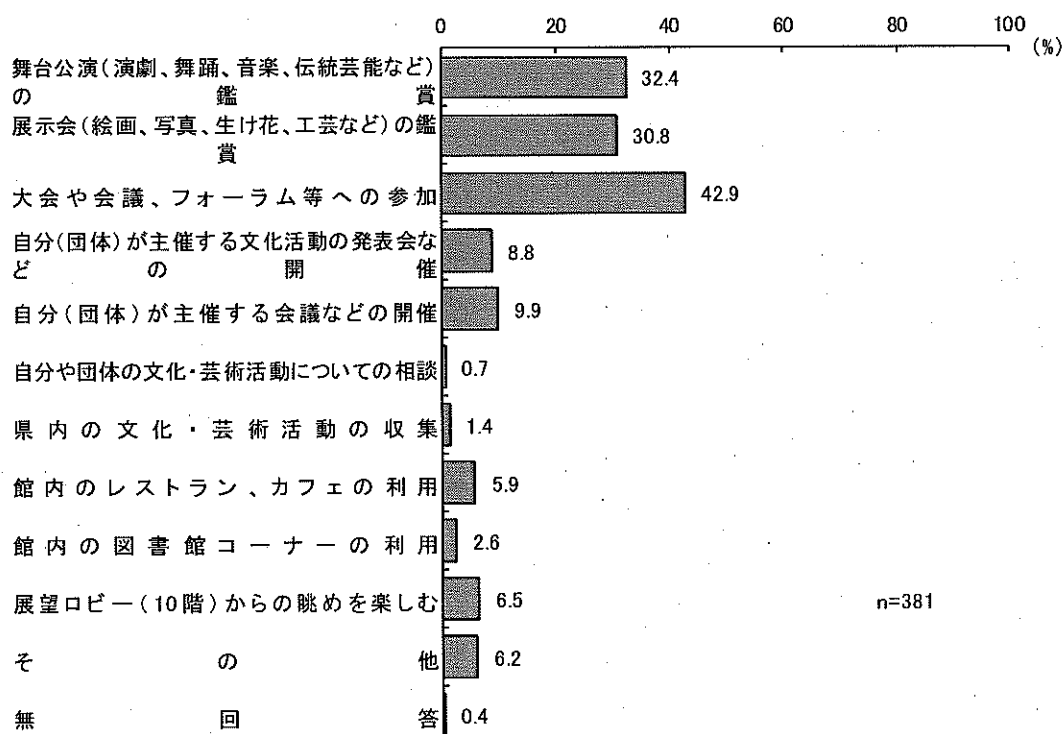
<全体>

グランシップに行った(利用した)ことが「ある」は49.5%、行った(利用した)ことが「ない」は49.1%となった。

過去の調査と比較すると、行った(利用した)ことが「ある」と行った(利用した)ことが「ない」とで毎回概ね半々となっている。

3-3 「グランシップ」の利用目的

問19 問18で「1.ある」と回答された方にお聞きます。グランシップを利用した主な目的は何ですか？次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。

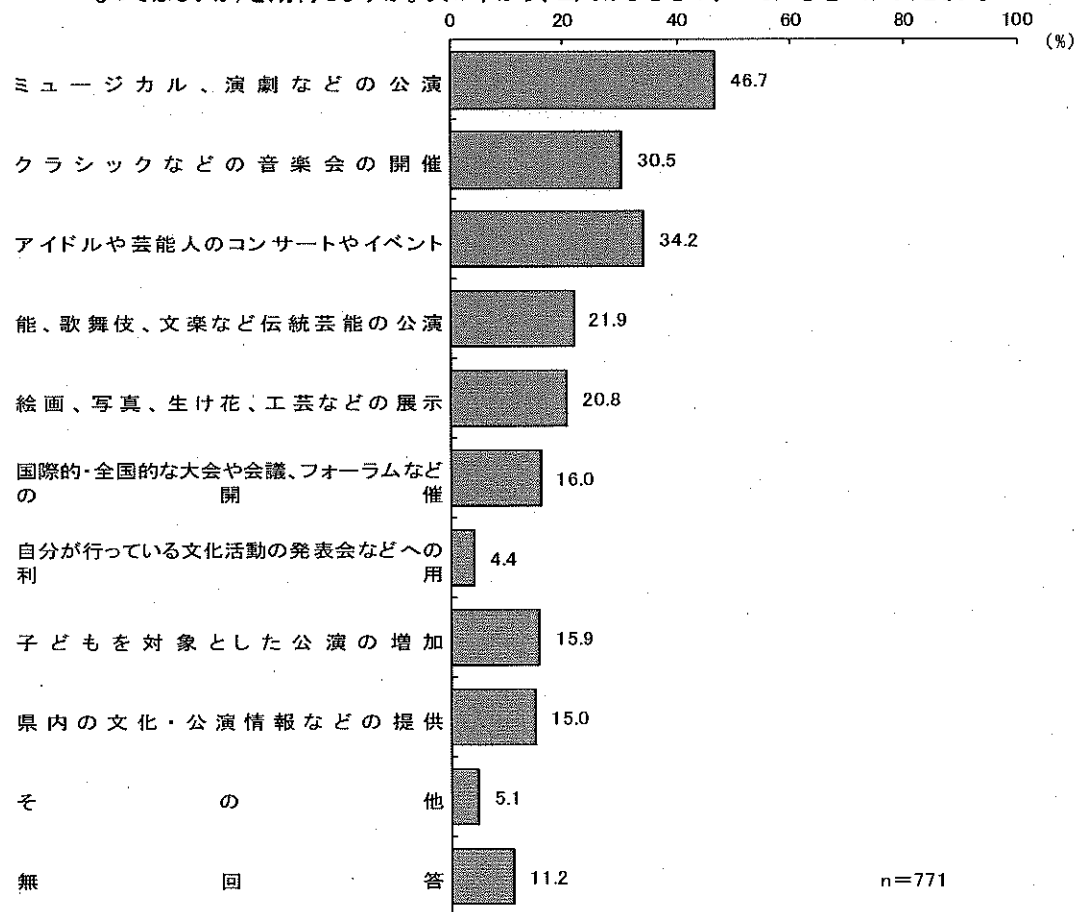


<全体>

グランシップに行った(利用した)ことがあると回答した人の利用した目的は、「大会や会議、フォーラム等への参加」が42.9%で最も高く、次いで「舞台公演の鑑賞」が32.4%、「展示会の鑑賞」が30.8%で他の項目を大きく引き離している。

3-4 「グランシップ」への期待

問20 すべての方にお聞きます。あなたは、グランシップにどのようなこと(どういふことを行うべきか、どんな場になつてほしいか)を期待しますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図3-4-1 「グランシップ」への期待】

(%)

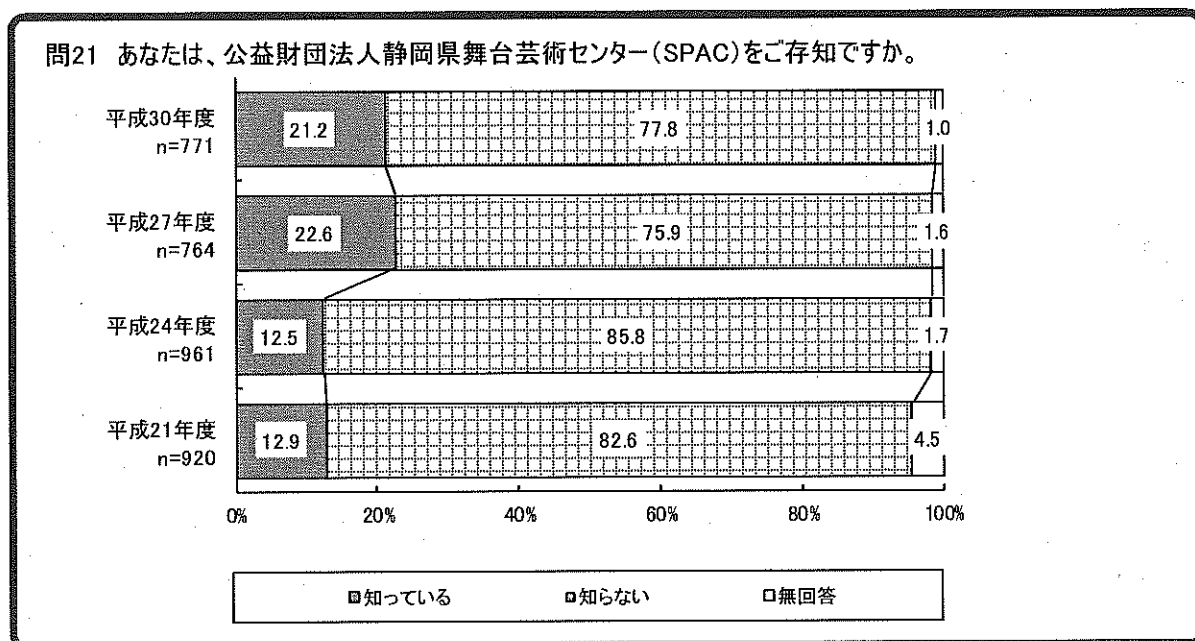
【項目】	平成21年度	平成24年度	平成27年度	平成30年度
ミュージカル、演劇などの公演	42.1	44.6	49.3	46.7
クラシックなどの音楽会の開催	28.7	25.7	30.8	30.5
アイドルや芸能人のコンサートやイベント	-	-	35.3	34.2
能、歌舞伎、文楽など伝統芸能の公演	18.8	22.2	22.1	21.9
絵画、写真、生け花、工芸などの展示	21.3	20.6	17.6	20.8
国際的・全国的な大会や会議、フォーラムなどの開催	21.0	21.9	18.5	16.0
自分が行っている文化活動の発表会などへの利用	4.0	3.5	3.5	4.4
子どもを対象とした公演の増加	17.8	18.7	14.6	15.9
県内の文化・公演情報などの提供	20.9	19.8	16.8	15.0
その他	7.9	9.9	8.3	5.1
無回答	16.3	9.5	7.8	11.2

<全体>

グランシップへの期待内容は「ミュージカル、演劇などの公演」が46.7%で最も高くなっている。次いで「アイドルや芸能人のコンサートやイベントを開催」が34.2%、「クラシックなどの音楽会を開催」が30.5%の順となっている。

過去の調査と比較すると、「県内の文化・公演情報などを提供」は平成21年度調査以降、減少傾向で推移している。

3-5 「公益財団法人静岡県舞台芸術センター（以下、SPAC）」の認知度



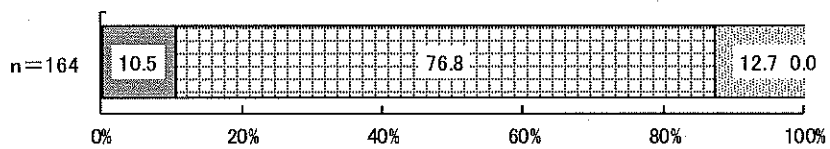
<全体>

SPACを「知っている」は21.2%、「知らない」は77.8%となった。

過去の調査と比較すると、「知っている」の割合は2割超であるものの、平成27年度調査と比べて1.4ポイント微減している。

3-6 「SPAC」の鑑賞経験

問22 問21で「1. 知っている」と回答された方にお聞きします。あなたは、公益財団法人静岡県舞台芸術センター（SPAC）の演劇を鑑賞したことがありますか。



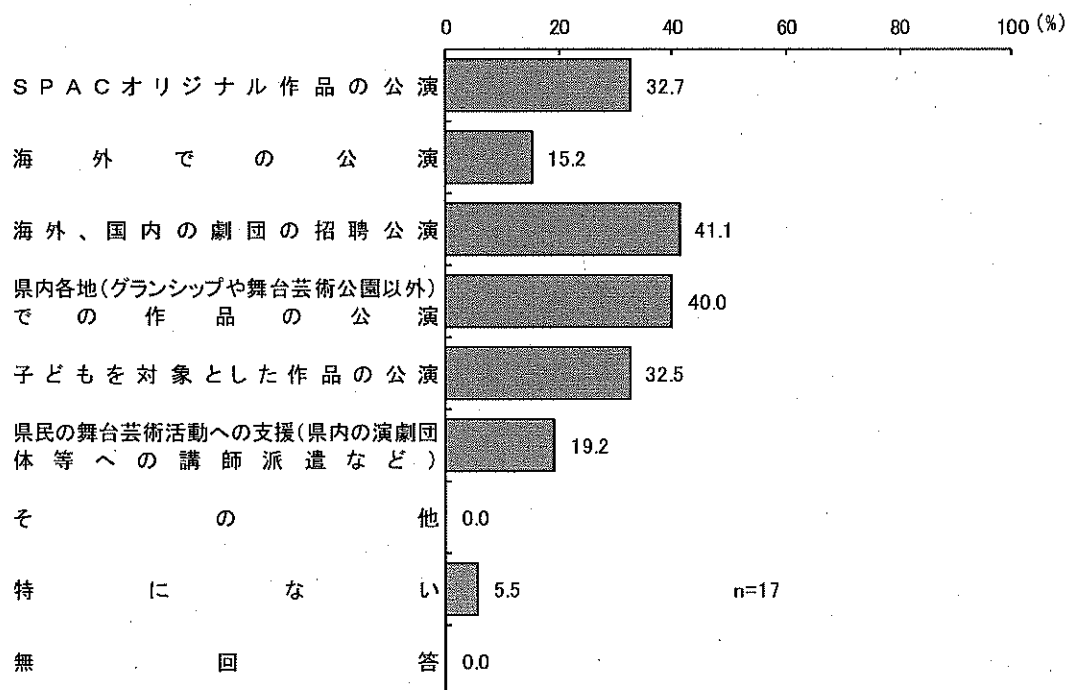
ある ない あるが、最近(過去3年間)は鑑賞していない 無回答

<全体>

SPACの演劇鑑賞経験については、「ある」は10.5%、「あるが最近（過去3年間）は鑑賞していない」は12.7%、「ない」は76.8%となっている。

3-7 「SPAC」への期待

問23 問22で「1.ある」と回答された方にお聞きします。あなたは、SPACにどのようなこと(どういうことを行うべきか、どんな場になってほしいか)を期待しますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。

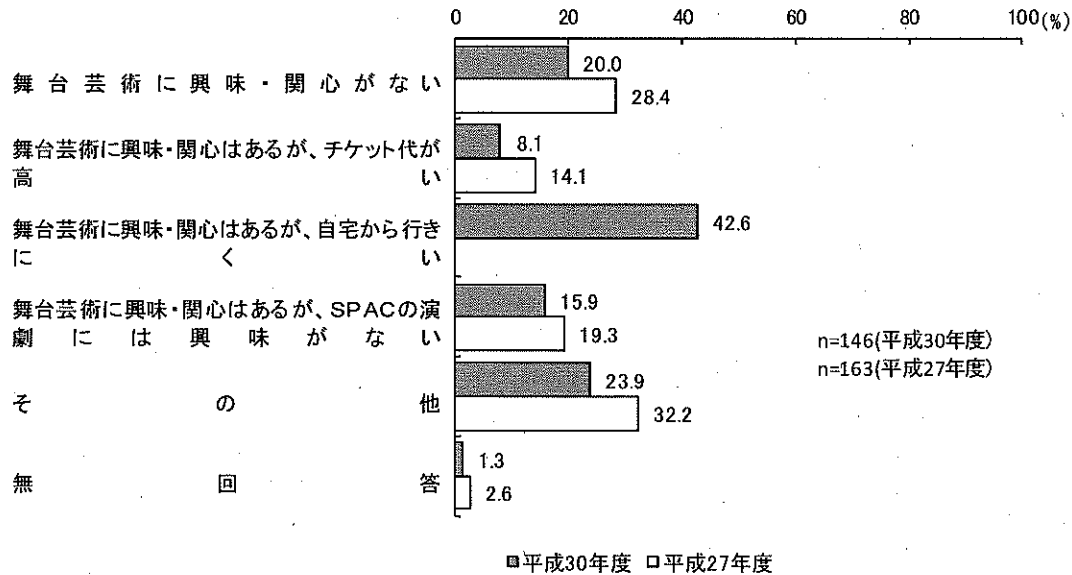


<全体>

SPACの演劇を鑑賞したことがあると回答した人のSPACへの期待内容は、「海外、国内の劇団の招聘公演」が41.1%で最も高く、次いで「県内各地での作品の公演」が40.0%、「SPACオリジナル作品の公演」が32.7%と続いている。

3-8 「SPAC」を鑑賞しない理由

問24 問22で「2.ない」と回答された方及び、「3. 最近(過去3年間)鑑賞していない」方にお聞きます。
鑑賞しない理由は何ですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



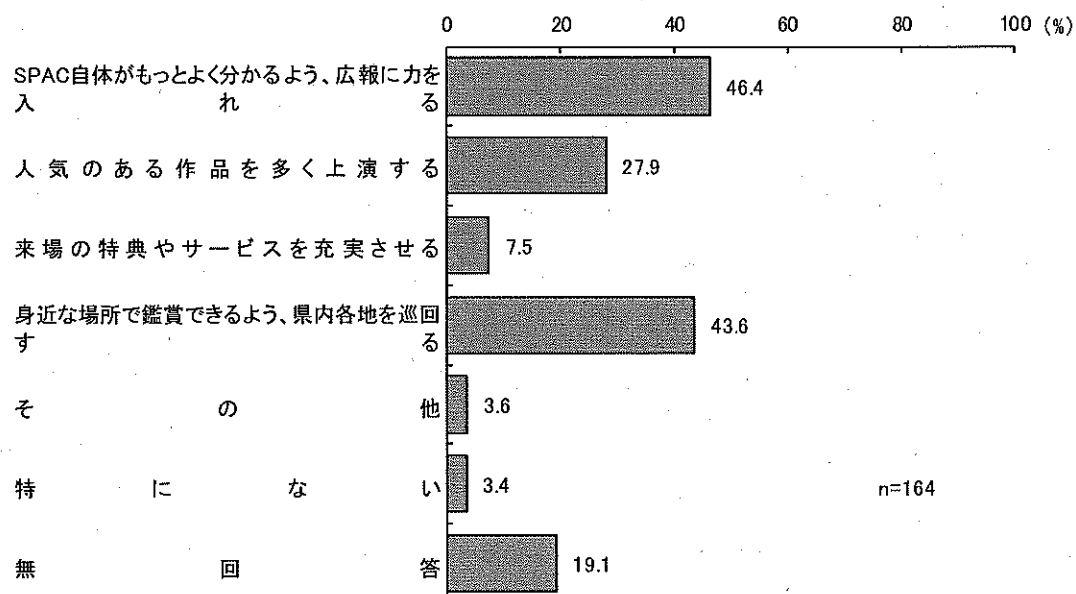
※「舞台芸術に興味・関心はあるが、自宅から行きにくい」は平成27年度では未調査。

<全体>

SPACの演劇を鑑賞したことがない、最近(過去3年間)鑑賞していないと回答した人の鑑賞しない理由は「舞台芸術に興味・関心はあるが、自宅から行きにくい」が42.6%で最も高く、次いで「舞台芸術に興味・関心がない」が20.0%となっている。

3-9 「SPAC」への意見

問25 問21で「1. 知っている」と回答された方にお聞きします。あなたは、より多くの方にSPACの演劇をご覧いただくためには、今後何をすればよいと思いますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。

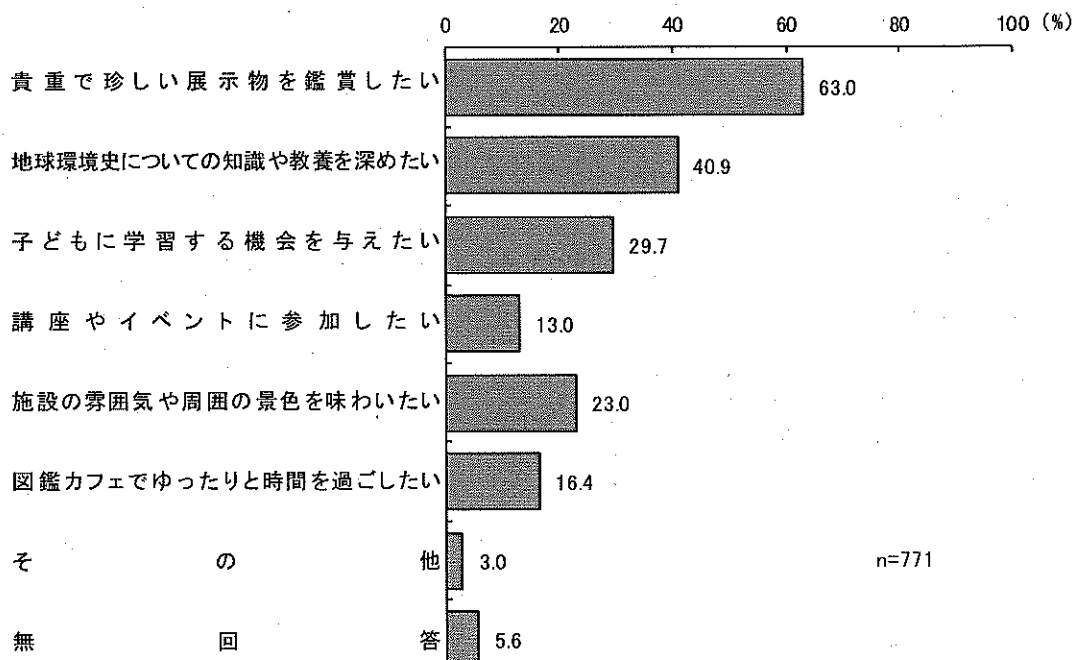


<全体>

SPACの演劇の観覧のために必要な施策については、「SPAC自体がもっとよく分かるよう、広報に力を入れる」が46.4%で最も高く、次いで「身近な場所で鑑賞できるよう、県内各地を巡回する」が43.6%となっており、これらが他の項目を15ポイント以上上回っている。

3-10 「ふじのくに地球環境史ミュージアム」への期待

問26 あなたがふじのくに地球環境史ミュージアムに行くとしたら、主にどのようなことを期待して行きますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。

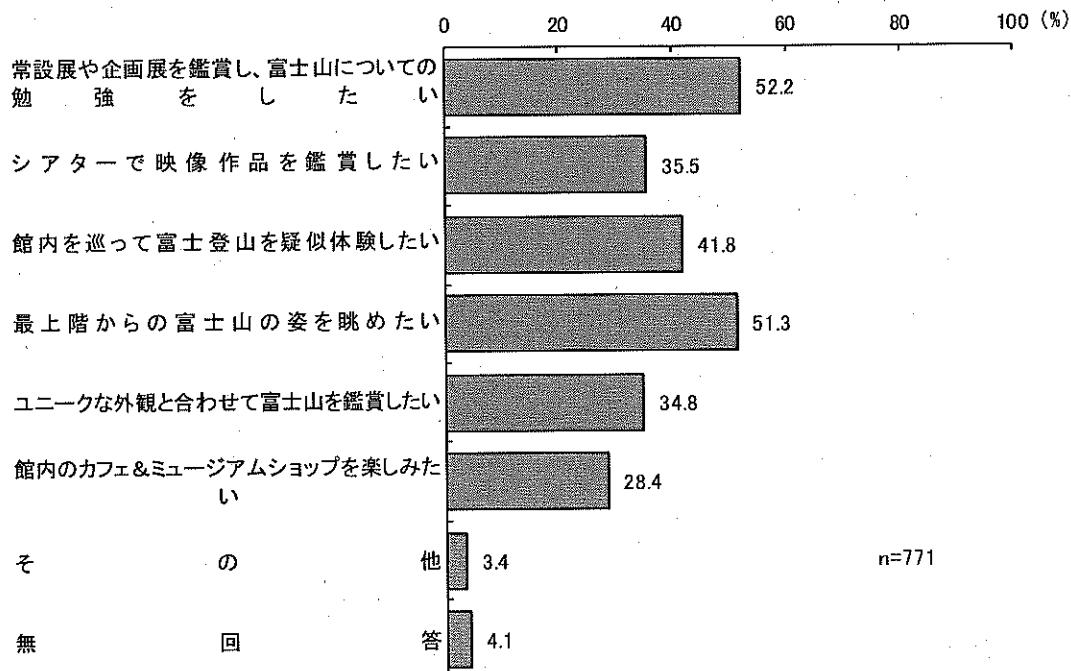


<全体>

ふじのくに地球環境史ミュージアムに期待していることとして、「貴重で珍しい展示物を鑑賞したい」が63.0%で最も高く、次いで「地球環境史についての知識や教養を深めたい」が40.9%となっている。

3-11 「静岡県富士山世界遺産センター」への期待

問27 あなたが静岡県富士山世界遺産センターに行くとしたら、主にどのようなことを期待して行きますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



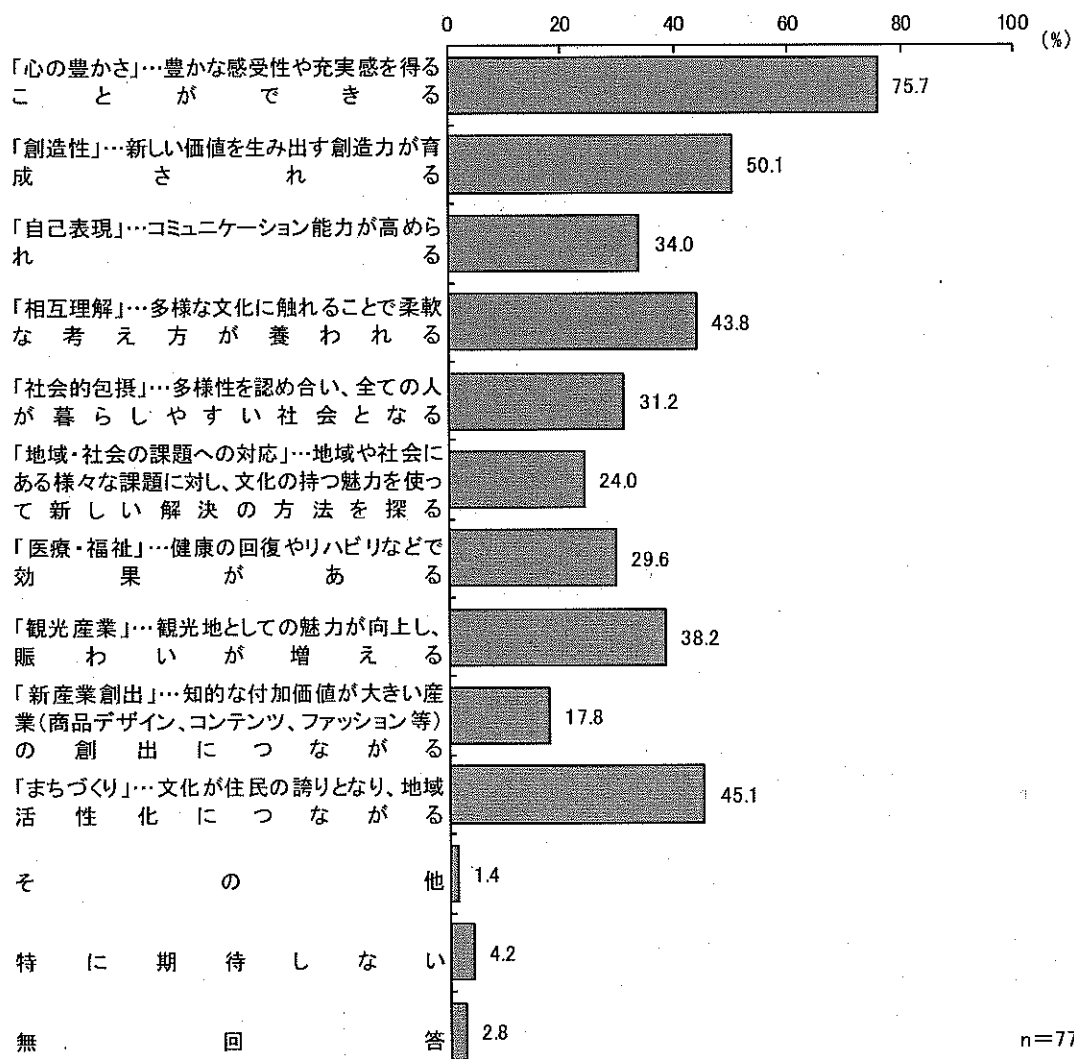
<全体>

静岡県富士山世界遺産センターに期待していることとして、「常設展や企画展を鑑賞し、富士山についての勉強をしたい」が52.2%で最も高く、次いで「最上階からの富士山の姿を眺めたい」が51.3%となっている。

4 静岡県の文化振興について

4-1 文化に期待するもの

問28 次の中で、あなたが文化に期待するものは何ですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図4-1-i 文化に期待するもの】

(%)

【項目】	平成21年度	平成24年度	平成27年度	平成30年度
心の豊かさ	79.9	76.2	77.6	75.7
創造性	48.9	48.4	53.7	50.1
自己表現	34.1	33.5	32.6	34.0
相互理解	47.4	44.8	46.8	43.8
社会的包摂	-	-	28.5	31.2
地域・社会の課題への対応	-	-	-	24.0
医療・福祉	29.8	25.9	29.5	29.6
観光産業	34.6	39.9	36.9	38.2
新産業創出	16.2	19.6	20.3	17.8
まちづくり	49.2	48.9	44.1	45.1
その他	1.2	0.8	1.1	1.4
特に期待しない	2.5	4.1	4.3	4.2
無回答	2.2	1.1	2.7	2.8

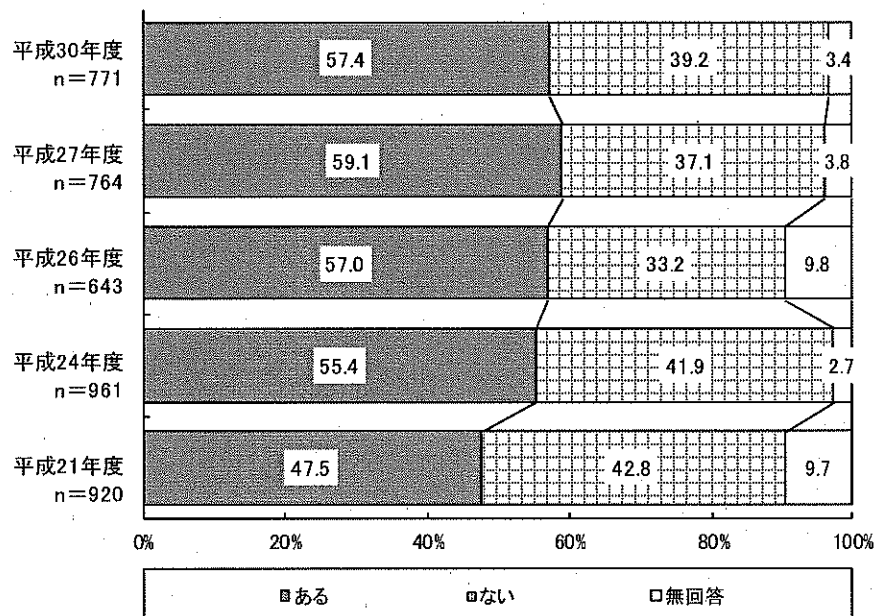
<全体>

文化に期待するものとして最も割合が高いのは、「心の豊かさ」で75.7%と7割を超えている。次いで「創造性」が50.1%、「まちづくり」が45.1%、「相互理解」が43.8%の順となっている。

過去調査と比較すると平成27年度調査より「医療・福祉」がわずかに増加傾向で推移している。

4-2 地域の誇りだと感じられる文化資源の有無

問29 あなたのお住まいの地域には、あなた自身が誇りに思う、よその地域の方に紹介したくなる文化資源（独特の文化活動、歴史的な文化遺産や祭・芸能、その地域ならではの景観や食文化など）がありますか。



<全体>

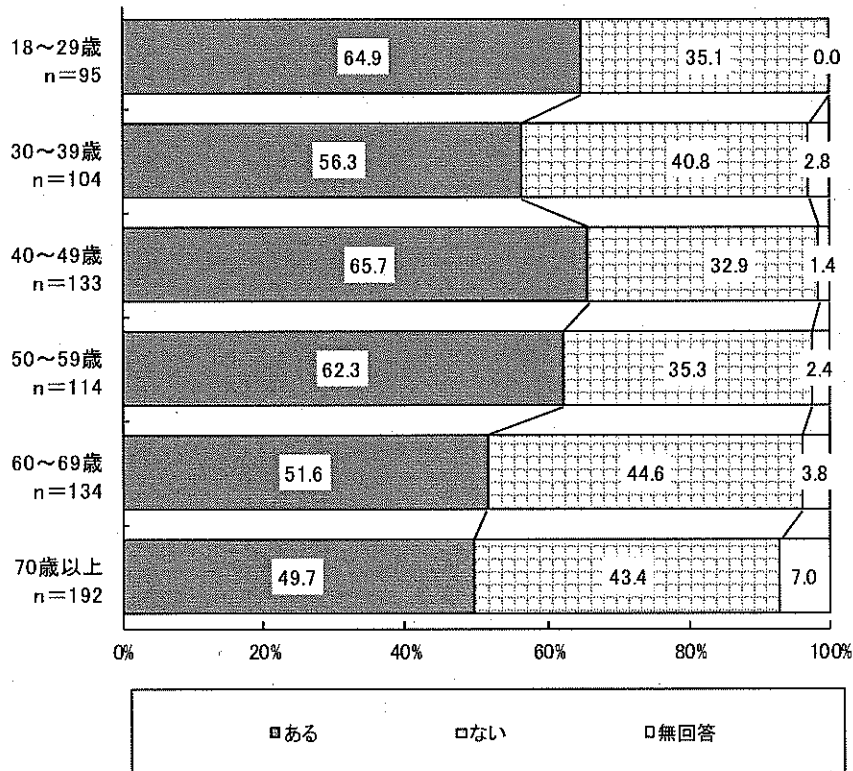
現在、住んでいる地域に文化資源が「ある」と回答した割合は57.4%で、「ない」と回答した割合は39.2%であった。

過去の調査と比較すると、「ある」と回答した割合は平成27年度調査の59.1%から1.7ポイント低くなっているが、概ね変化は見られない。

<年代別>

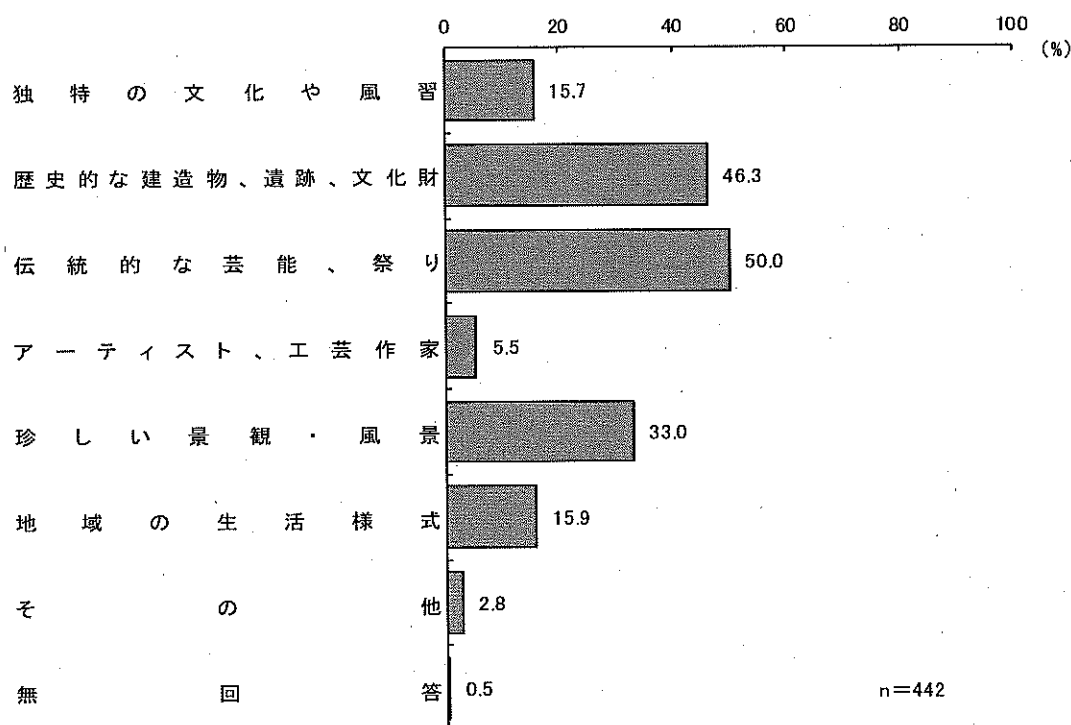
年代別でみると、70歳以上を除くすべての年代で住んでいる地域に文化資源が「ある」と回答した割合が半数を超えている。特に40～49歳は65.7%で他の年代を上回っている。

【図4-2-i 年代別 地域の誇りだと感じられる文化資源の有無】



4-3 地域の誇りだと感じられる文化資源

問30 問29で「1. ある」と回答された方にお聞きます。それはどのようなものですか。次の中から当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図4-3-i 地域の誇りだと感じられる文化資源】

(%)

【項目】	平成21年度	平成24年度	平成26年度	平成27年度	平成30年度
独特の文化や風習	27.7	23.9	17.6	15.6	15.7
歴史的な建造物、遺跡、文化財	65.2	64.9	80.0	47.3	46.3
伝統的な芸能、祭り	-	-	13.2	46.4	50.0
アーティスト、工芸作家	4.8	8.3	4.3	4.1	5.5
珍しい景観・風景	35.5	39.2	35.5	34.7	33.0
地域の生活様式	16.0	15.7	10.7	15.1	15.9
その他	4.1	5.9	2.4	1.5	2.8
無回答	0.5	1.1	0.0	0.4	0.5

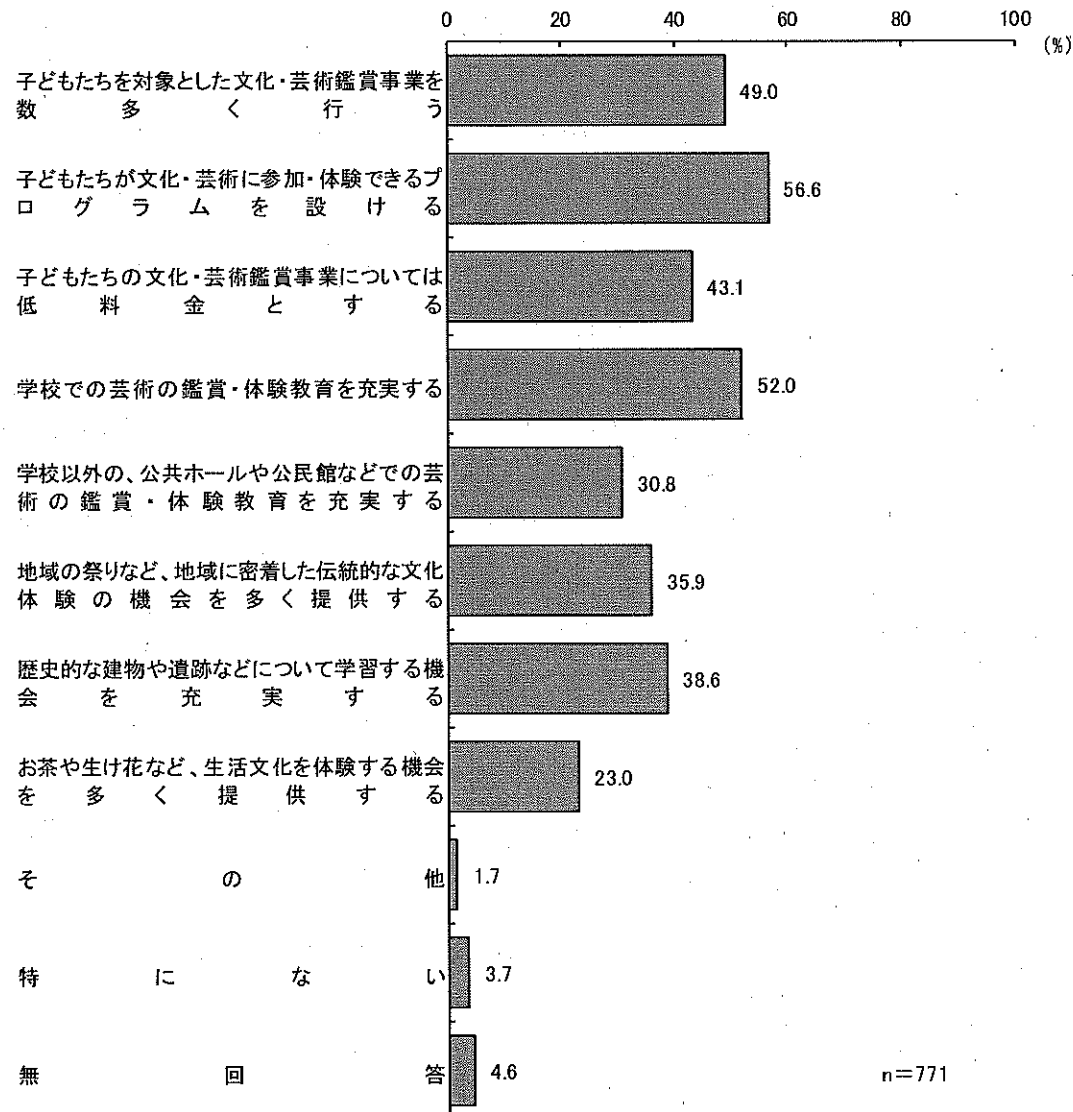
<全体>

地域の誇れる文化が「ある」と回答した人は「伝統的な芸能、祭り」が50.0%で最も高く、次いで「歴史的な建造物、遺跡、文化財」が46.3%で続いている。

過去の調査と比較すると「伝統的な芸能、祭り」が増加傾向で推移しており、平成30年度調査では第1位となっている。

4-4 子どもへの文化・芸術の提供

問31 県では、子どもの頃に様々な文化・芸術に触れる機会の充実を図ることを、重点施策の1つに挙げています。あなたは、子どもたちが文化・芸術に親しむ機会を充実するためには、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。次の中から当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図4-4-i 子どもへの文化・芸術の提供】

(%)

【項目】	平成21年度	平成24年度	平成27年度	平成30年度
子どもたちを対象とした文化・芸術鑑賞事業を数多く行う	42.2	42.0	49.5	49.0
子どもたちが文化・芸術に参加・体験できるプログラムを設ける	67.8	69.4	55.6	56.6
子どもたちの文化・芸術鑑賞事業については低料金とする	42.3	38.9	49.2	43.1
学校での芸術の鑑賞・体験教育を充実する	57.3	61.1	56.7	52.0
学校以外の、公共ホールや公民館などでの芸術の鑑賞・体験教育を充実する	-	-	31.9	30.8
地域の祭りなど、地域に密着した伝統的な文化体験の機会を多く提供する	47.0	43.1	36.7	35.9
歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会を充実する	40.2	42.8	43.7	38.6
お茶や生け花など、生活文化を体験する機会を多く提供する	-	-	25.3	23.0
その他	1.8	2.8	3.3	1.7
特になし	1.4	1.9	1.5	3.7
わからない	3.4	3.2	4.3	-
無回答	2.9	0.8	3.8	4.6

<全体>

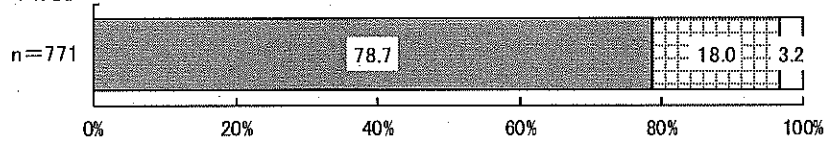
子どもたちが文化・芸術に親しむために、県や市町に期待する第1位は「子どもたちが文化・芸術に参加・体験できるプログラムを設ける」で56.6%、次いで「学校での芸術の鑑賞・体験教育を充実する」が52.0%、「子どもたちを対象とした文化・芸術鑑賞事業を数多く行う」が49.0%となっている。

過去の調査と比較すると、「地域の祭りなど、地域に密着した伝統的な文化体験の機会を多く提供する」が減少傾向で推移している。

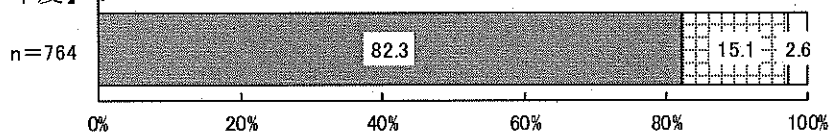
4-5 災害発生後の文化の役割の有無

問32 あなたは、災害(地震、津波、水害等)発生後において、文化・芸術が果たす役割があると考えますか。

【平成 30 年度】



【平成 27 年度】



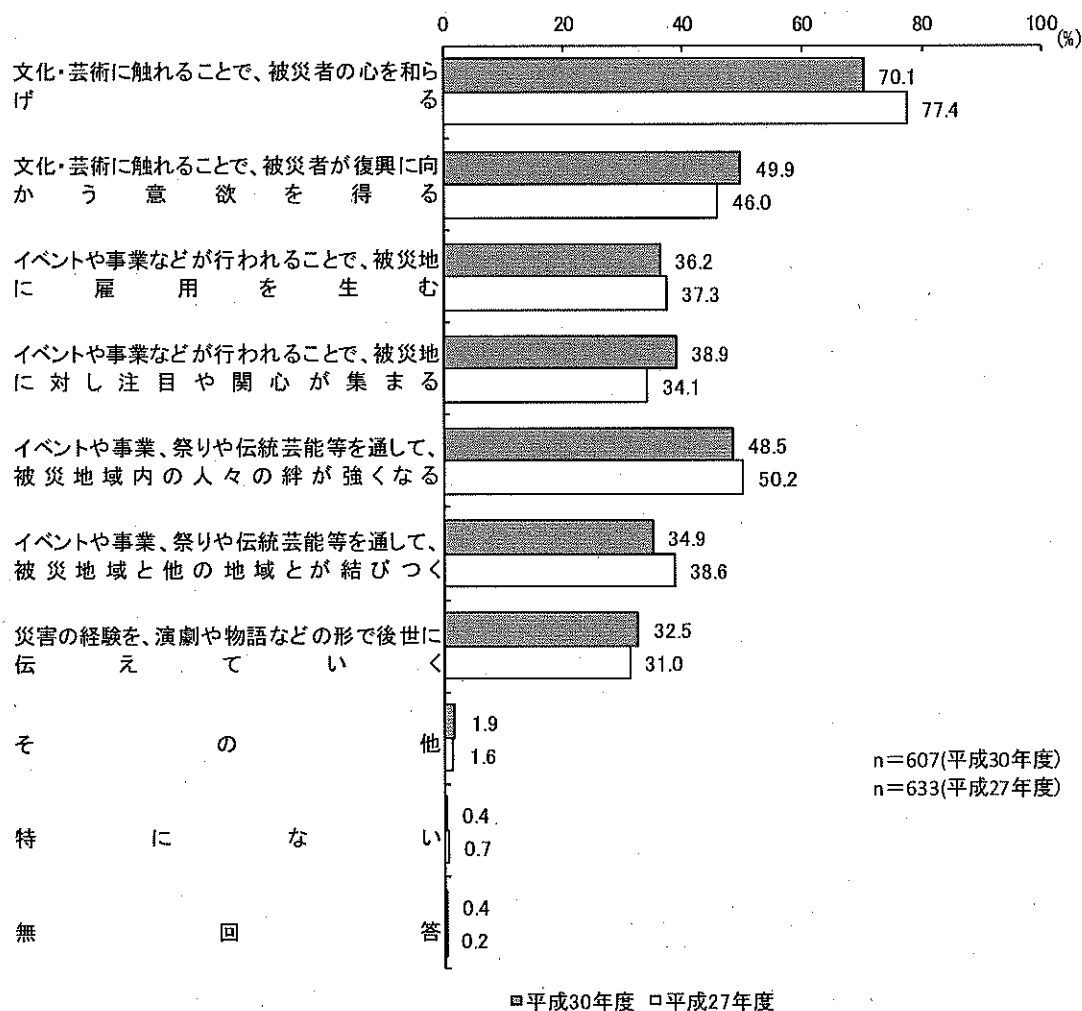
■ある □ない □無回答

<全体>

災害(地震、津波、水害等)発生後において、文化・芸術が果たす役割が「ある」と回答した割合は78.7%で、「ない」と回答した割合は18.0%であった。

4-6 災害発生後の文化の役割

問33 問32で「1. ある」と回答された方にお聞きます。文化・芸術は、どのような役割を果たすと考えますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。

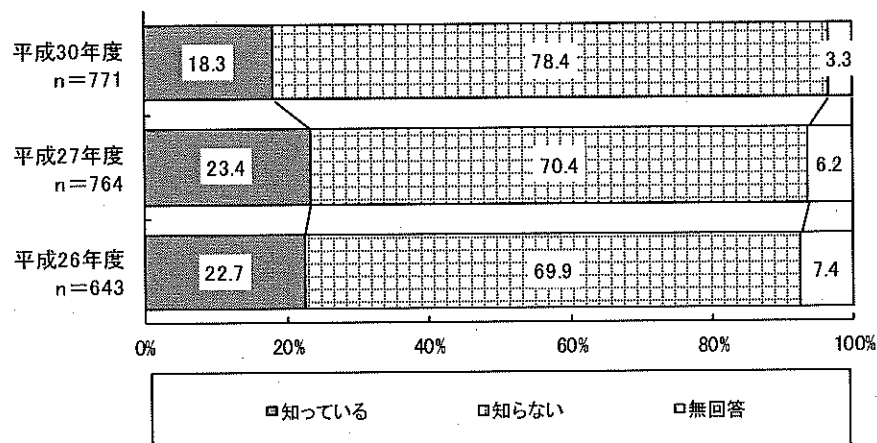


<全体>

災害発生後において、文化・芸術が果たす役割が「ある」と回答した人の第1位は、「文化・芸術に触れることで、被災者の心を和らげる」の70.1%で他の項目を20ポイント以上上回っている。次いで「文化・芸術に触れることで、被災者が復興に向かう意欲を得る」が49.9%、「イベントや事業、祭りや伝統芸能等を通して、被災地内の人々の絆が強くなる」が48.5%となっている。

4-7 オリンピック・パラリンピック文化プログラムの認知度

問34 2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。オリンピック・パラリンピックは、スポーツのイメージが強い祭典ですが、同時に、文化の祭典として各地域で様々な文化イベント(文化プログラム)が行われていることを知っていますか。



<全体>

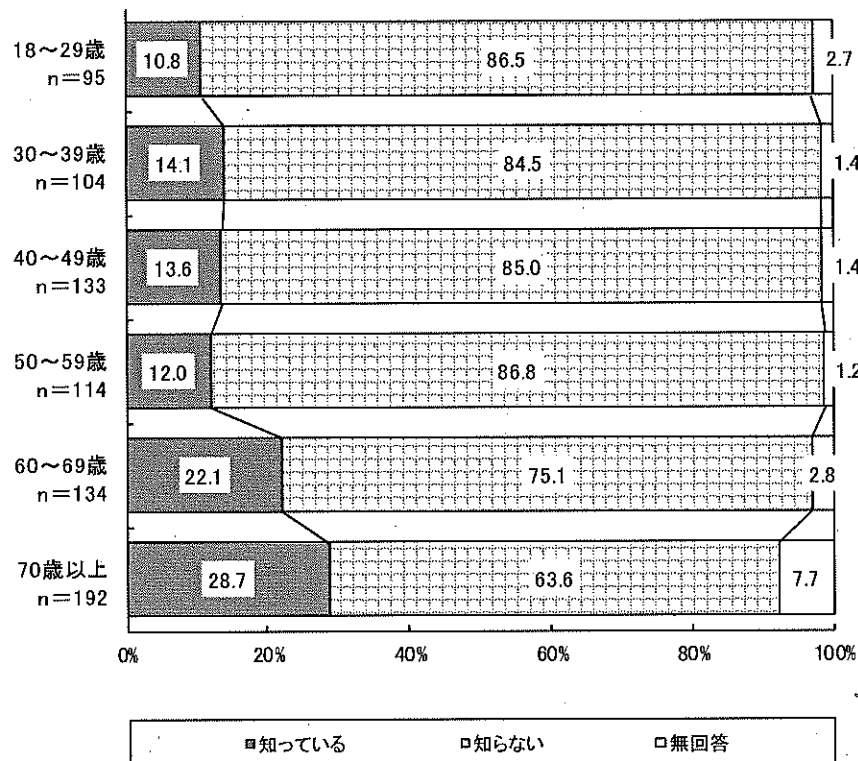
2020年東京オリンピック・パラリンピック開催の際に、各地域で様々な文化イベントが行われることへの認知については、「知っている」が18.3%、「知らない」が78.4%で、認知度は2割を下回っている。

過去の調査との比較では、「知っている」が平成27年度調査から5.1ポイント減少している。

<年代別>

年代別でみると、「知っている」は70歳以上で28.7%と最も高く、次いで60～69歳が22.1%でともに2割超と他の年代よりも高い割合となっている。

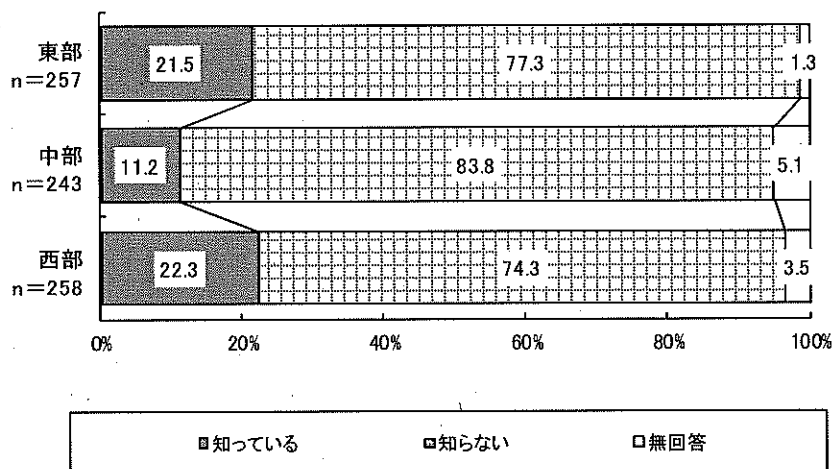
【図4-7-i 年代別 オリンピック・パラリンピック文化プログラムの認知度】



<地区別>

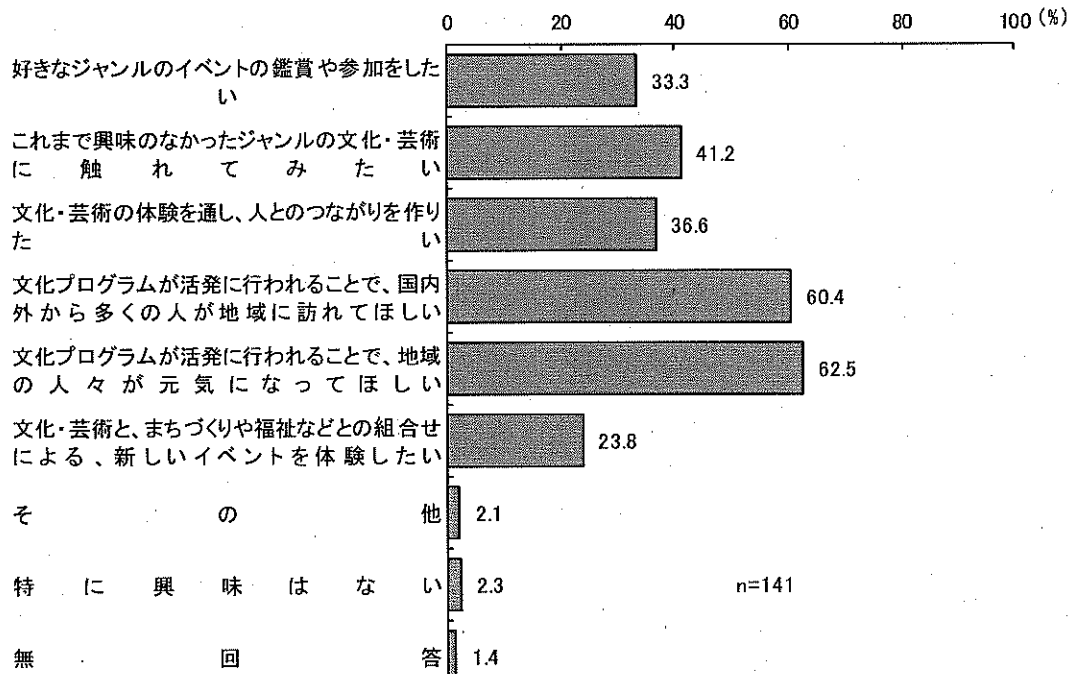
地区別でみると、「知っている」は中部地区で11.2%と他の2地区と比べて10ポイント以上下回っている。

【図4-7-ii 地区別 オリンピック・パラリンピック文化プログラムの認知度】



4-8 オリンピック・パラリンピック文化プログラムへの期待

問35 問34で「1. 知っている」と回答された方にお聞きます。次の中で、あなたが静岡県内で行われる文化プログラムに期待するものは何ですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。

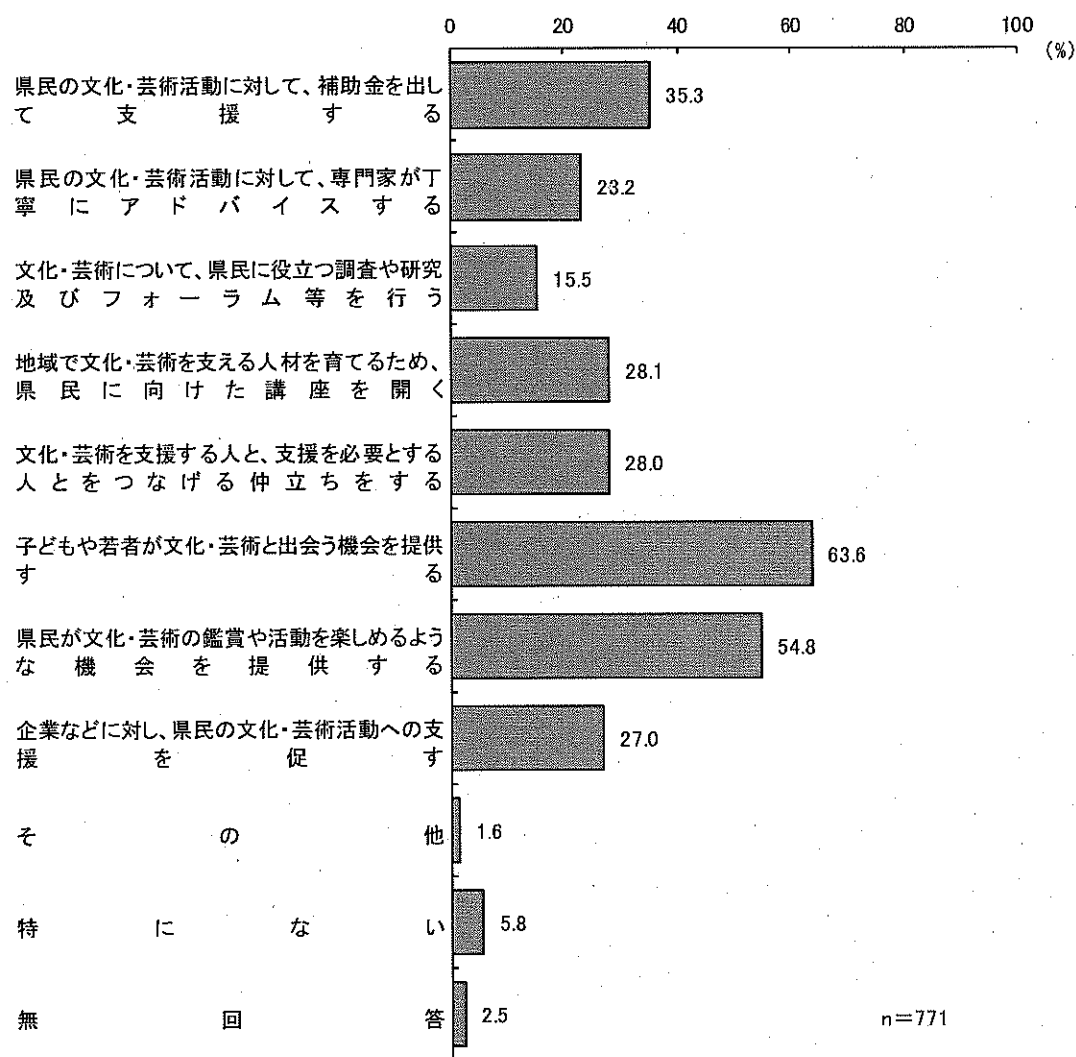


<全体>

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催の際に、各地域で様々な文化イベントが行われることへの認知について「知っている」と回答した人が静岡県内で行われる文化プログラムに期待することは、「文化プログラムが活発に行われることで、地域の人々が元気になってほしい」の62.5%が最も高く、次いで「文化プログラムが活発に行われることで、国内外から多くの人が地域を訪れてほしい」が60.4%でともに6割超と他の項目より比較的高くなっている。

4-9 文化・芸術振興のために、県へ期待すること

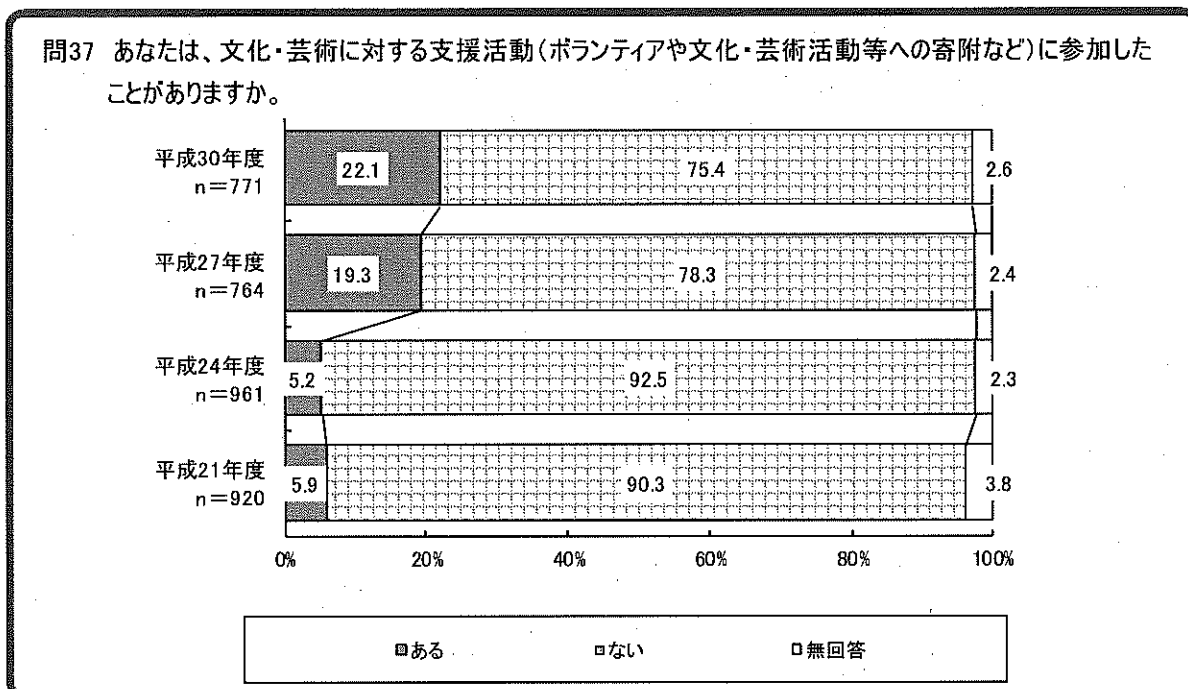
問36 あなたは、文化・芸術振興のため、県は今後どのようなことに力を入れていべきと考えますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



<全体>

文化・芸術振興のために、県に期待する第1位は「子どもや若者が文化・芸術と出会う機会を提供する」が63.6%で最も高く、次いで「県民が文化・芸術の鑑賞や活動を楽しめるような機会を提供する」が54.8%でこれらが他の項目よりも高くなっている。

4-10 文化・芸術に対する支援活動参加の有無



<全体>

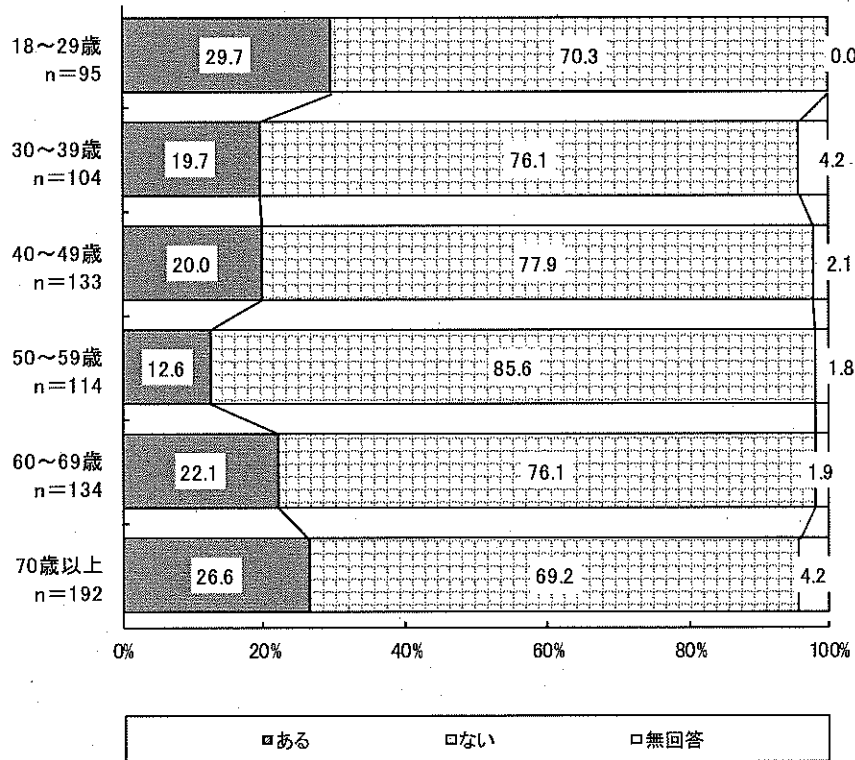
文化・芸術に対する支援活動（文化ボランティアや文化・芸術活動等への寄附など）に参加したことが「ある」は22.1%、「ない」は75.4%となった。

過去の調査と比較すると、「ある」が平成27年度調査より2.8ポイント増加している。

<年代別>

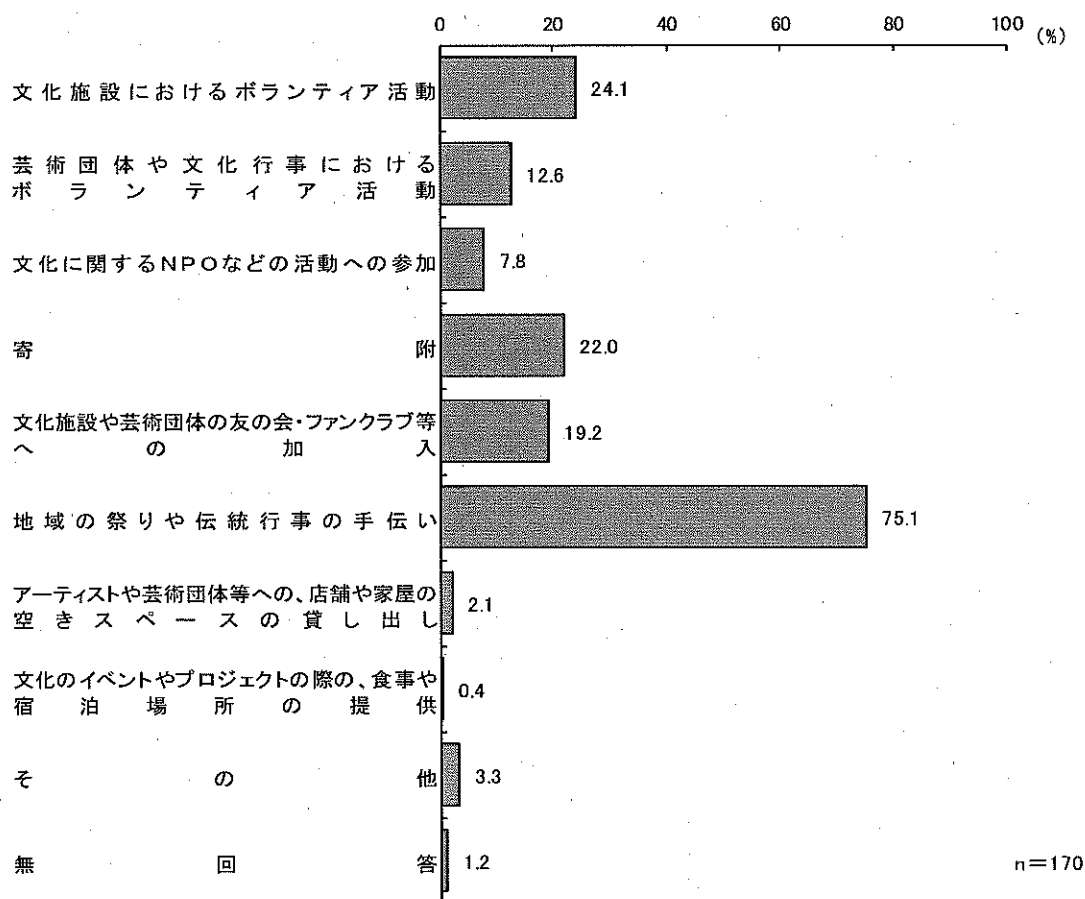
年代別でみると、「ある」が最も高いのは18～29歳で29.7%、次いで70歳以上が26.6%、60～69歳が22.1%となっている。一方、50～59歳は12.6%と他の年代と比べて比較的低い割合となっている。

【図4-10-i 年代別 文化・芸術に対する支援活動参加の有無】



4-11 文化・芸術に対する支援活動の内容

問38 問37で「1. ある」と回答された方にお聞きします。あなたが参加した文化に対する支援活動は次のどれですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図4-11-i 文化・芸術に対する支援活動の内容】

(%)

【項目】	平成21年度	平成24年度	平成27年度	平成30年度
文化施設におけるボランティア活動	33.3	29.5	14.8	24.1
芸術団体や文化行事におけるボランティア活動	22.2	18.5	12.7	12.6
文化に関するNPOなどの活動への参加	13.0	17.1	10.6	7.8
寄附	31.5	31.3	25.1	22.0
文化施設や芸術団体の友の会・ファンクラブ等への加入	35.2	35.4	17.8	19.2
地域の祭りや伝統行事の手伝い	—	—	70.1	75.1
アーティストや芸術団体等への、店舗や家屋の空きスペースの貸し出し	—	—	1.9	2.1
文化のイベントやプロジェクトの際の、食事や宿泊場所の提供	—	—	3.2	0.4
その他	9.3	6.0	2.1	3.3
無回答	0.0	1.4	0.7	1.2

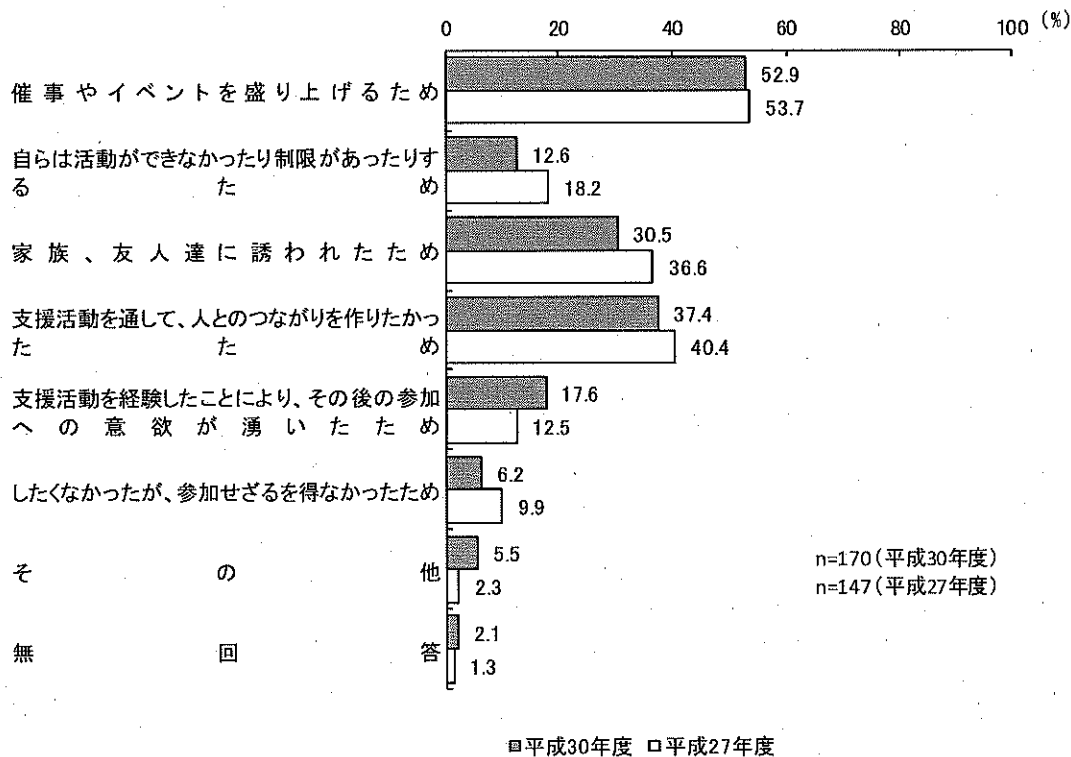
<全体>

文化・芸術に対する支援活動に参加したことが「ある」人の活動内容の第1位は「地域の祭りや伝統行事の手伝い」が75.1%で他の項目を50ポイント以上大きく上回っている。次いで「文化施設におけるボランティア活動」が24.1%、「寄附」が22.0%となっている。

過去の調査と比較すると、平成27年度調査と比べて「文化施設におけるボランティア活動」「地域の祭りや伝統行事の手伝い」が増加傾向で推移している。一方、「文化に関するNPOなどの活動への参加」「寄附」は減少傾向で推移している。

4-12 文化・芸術に対する支援活動参加理由

問39 問37で「1. ある」と回答された方にお聞きます。あなたが文化に対する支援活動をする理由は次のどれですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。

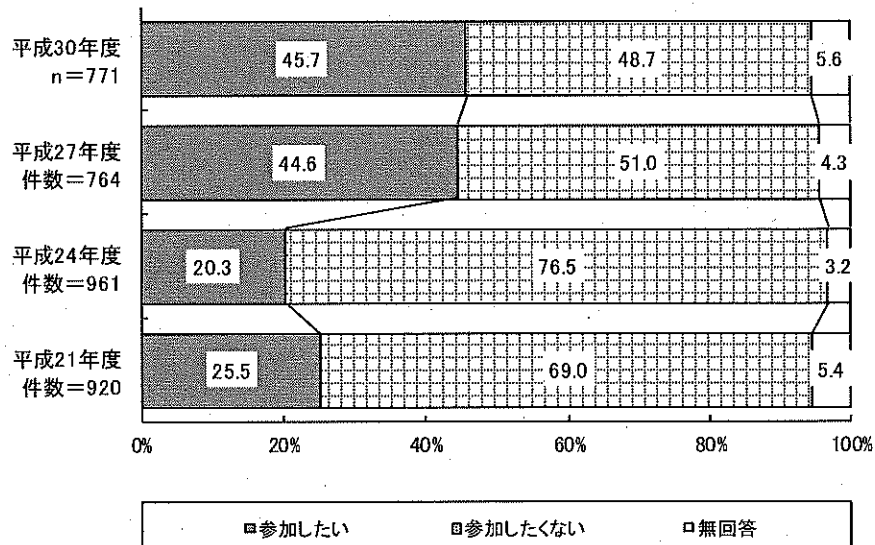


<全体>

文化・芸術に対する支援活動に参加したことが「ある」人の参加理由は、「催事やイベントを盛り上げるため」が52.9%で最も高く、次いで「支援活動を通して、人とのつながりを作りたい」が37.4%、「家族、友人達に誘われたため」が30.5%と続いている。

4-13 文化・芸術に対する支援活動参加希望の有無

問40 すべての方にお聞きます。あなたは、今後、文化・芸術に対する支援活動(ボランティア)に参加したいと思いませんか。



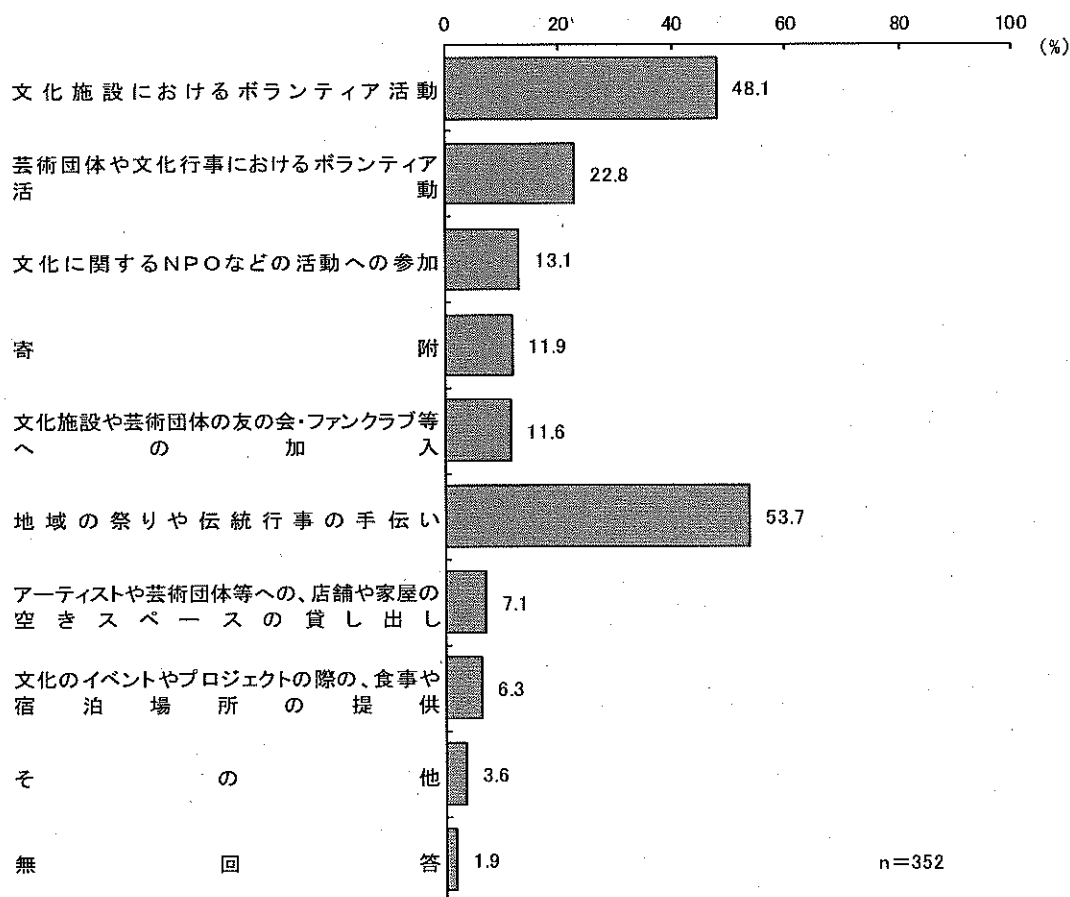
<全体>

今後、文化・芸術に対する支援活動に「参加したい」が45.7%、「参加したくない」は48.7%となっている。

過去の調査と比較すると、平成27年度調査と比べ大きな変化は見られない。

4-14 文化・芸術に対する支援活動参加希望の内容

問41 問40で「1. 参加したい」と回答された方にお聞きします。あなたが参加したい文化に対する支援活動は次のどれですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図4-14-i 文化・芸術に対する支援活動参加希望の内容】

(%)

【項目】	平成21年度	平成24年度	平成27年度	平成30年度
文化施設におけるボランティア活動	61.7	51.9	47.5	48.1
芸術団体や文化行事におけるボランティア活動	31.5	33.3	24.4	22.8
文化に関するNPOなどの活動への参加	27.2	21.2	15.8	13.1
寄附	11.1	13.4	14.1	11.9
文化施設や芸術団体の友の会・ファンクラブ等への加入	17.9	22.2	16.1	11.6
地域の祭りや伝統行事の手伝い	-	-	54.7	53.7
アーティストや芸術団体等への、店舗や家屋の空きスペースの貸し出し	-	-	5.3	7.1
文化のイベントやプロジェクトの際の、食事や宿泊場所の提供	-	-	3.9	6.3
その他	3.4	3.9	2.5	3.6
無回答	3.0	5.5	0.3	1.9

<全体>

文化・芸術に対する支援活動に「参加したい」と回答した人の希望する活動内容は、「地域の祭りや伝統行事の手伝い」が53.7%で最も高く、次いで「文化施設におけるボランティア活動」が48.1%、「芸術団体や文化行事におけるボランティア活動」が22.8%と続いている。

過去の調査と比較すると、「文化施設におけるボランティア活動」「アーティストや芸術団体等への、店舗や家屋の空きスペースの貸し出し」「文化のイベントやプロジェクトの際の、食事や宿泊場所の提供」の3項目が平成27年度調査よりも増加し、これら以外の項目は減少している。

平成30年度

文化に関する意識調査

発行 静岡県文化・観光部文化局文化政策課
〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
TEL <054> 221-2252
